

令和7年度
教育に関する事務の管理、執行の状況
の点検及び評価報告書

令和8年8月
一戸町教育委員会

はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定に基づき、一戸町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について教育委員会自ら点検及び評価を行った結果を取りまとめたものです。

この報告書を議会に提出するとともに、公表することにより町民への説明責任を果たし、町民に信頼される教育行政を推進してまいりたいと考えております。

また、点検及び評価の方法については今後においても随時不備な点は改善し、結果についてはこれからの施策等に反映していくこととし、継続的に事業の改善を図ってまいりたいと考えております。

○根拠

地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第 26 条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第 1 項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第 4 項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うには当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

○対象

教育振興基本計画の施策に基づき、その状況を点検及び評価の対象とした。

○方法

事業担当課が実施状況等をまとめ、次の 4 段階による内部評価を実施した。

- A・・・計画以上の成果をあげた
- B・・・達成できた
- C・・・おおむね達成できた
- D・・・達成できなかった

目 次

1. 令和7年度教育委員会の活動状況

- (1) 教育委員…………… 1
- (2) 教育委員会議の開催状況…………… 1
- (3) 教育委員会議議決案件…………… 1
- (4) 教育委員会議以外の活動状況…………… 2

2. 教育委員会事業の点検・評価

- (1) 第1章 生涯学習社会の構築…………… 3
- (2) 第2章 学校教育の充実…………… 13
- (3) 第3章 青少年の健全育成…………… 32
- (4) 地区センター事業…………… 36
- (5) 第4章 スポーツの推進…………… 51
- (6) 第5章 世界遺産「御所野遺跡」を守り伝えるまちづくりの推進…………… 57
- (7) 第6章 歴史文化の継承と創造…………… 61

3. 令和7年度教育に関する事務の管理及び

- 執行の状況の点検・評価に関する有識者からの意見…………… 69

1. 令和7年度教育委員会の活動状況

(1) 教育委員（令和7年4月1日現在）

役職名	氏 名	就任年月日	現任期
教育長職務代理者	春日川 寛治	平成24年12月25日	令和6年12月25日 ～令和10年12月24日
委 員	徳永 映子	平成29年12月25日	令和3年12月25日 ～令和7年12月24日
委 員	武田 靖子	平成30年4月1日	令和4年4月1日 ～令和8年3月31日
委 員	梅垣 俊輔	平成31年4月1日	令和5年4月1日 ～令和9年3月31日
教育長	上野 光久	令和6年9月24日	令和6年9月24日 ～令和9年3月31日

(2) 教育委員会議の開催状況

月 日	議 案	報 告	月 日	議 案	報 告
4 月 2 3 日	2	0	10 月 2 2 日	0	0
5 月 2 7 日	1	0	11 月 1 9 日	1	0
6 月 2 5 日	0	0	12 月 2 4 日	1	0
7 月 2 3 日	1	0	1 月 2 2 日	1	0
8 月 2 0 日	1	0	2 月 1 9 日	1	0
9 月 2 4 日	0	0	3 月 1 6 日	2	0
			計	11 件	0 件

(3) 教育委員会議議決案件

日 付	件 名
R7.4.23	一戸町スポーツ推進委員の委嘱に同意を求めることについて
	一戸町食育センター運営委員会規則の一部を改正する規則の制定について
R7.5.27	一戸町食育センター運営委員の委嘱に同意を求めることについて
R7.7.23	一戸町立小中学校において令和8年度使用する教科書の採択に関し議決を求めることについて

R7.8.20	令和6年度教育に関する事務の管理、執行の状況の点検及び評価報告書について
R7.11.19	一戸町立小中学校管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
R7.12.24	単純な技能労務等に雇用される職員の給与に関する規則の一部を改正する規則の制定について
R8.1.22	教育長の営利企業等への従事について
R8.2.19	一戸町立図書館管理運営規則の一部を改正する規則の制定について
R8.3.16	令和8年度公立義務教育諸学校教職員定期人事異動について
	令和7年度末職員の定期人事異動の内申に関し承認を求めることについて

(4) 教育委員会議以外の活動状況

・学校訪問等

4月	入学式	小学校、中学校
5月	学校視察	中学校
6月	学校視察	小学校
3月	卒業式	小学校、中学校

・総会・研修会

5月	全国町村教育長定期総会（東京都） 東北町村教育長連絡協議会定期総会（秋田県） 岩手県市町村教育委員会協議会定期総会（盛岡市）
7月	東北六県市町村教育委員会連合会定期総会（福島県）
10月	教育委員部会研修会（北上市） 教育長部会会議（久慈市）
1月	岩手県市町村教育委員会協議会教育長・教育委員研修会（盛岡市）

・一戸町総合教育会議の開催状況及び会議案件

日 付	件 名
R7.7.23	・令和7年度教育長施政方針について
	・中学校部活動の地域移行について
R8.1.22	・令和7年度教育長施政方針の取組状況について
	・令和8年度の教育行政の重点事項について

2. 教育委員会事業の点検・評価

社会教育事業実施状況

A：計画以上の成果をあげた
B：達成できた
C：おおむね達成できた
D：達成できなかった

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. いちのへ 町民セミナー	○期日及び内容 【共通課程】 ①「漢方養生と薬膳について」 漢方養生指導士 めりこ（山田恵理子）氏 6月21日 一戸地区センター（開講式） ②「岩手山の火山を学ぼう」 国土交通省東北整備局岩手河川国道事務所 職員 9月3日 一戸地区センター ③「新井先生に学ぶ！秋のお弁当メニュー」 クッキングサロン「ケトル」代表 フードコーディネーター 新井尚美 氏 10月10日、17日 一戸地区センター ④「からだのなかから元気に！いきいき血管講座」 明治安田 長内明子 氏 12月9日 一戸地区センター ⑤「花壇での花作りの基礎講座」 一戸夢ファーム 高橋寿一 氏 2月14日 一戸地区センター（修了式）	受講生 【共通課程】 ① 47名 ② 47名 ③ 49名 ④ 38名 ⑤ 51名	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ いずれの講座も募集定員を欠くことなく実施できた。 ○ 特にも体験講座は好評であった。 ● 参加者の固定化、参加者の要望にどこまで対応するのか検討が必要。 □ 今後も多彩なテーマを取り入れ、広い世代に興味関心を持っていただけるような企画を検討。			

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 社会教育関係団体の育成	期日 年間 内容 団体活動補助金の交付 対象 ①一戸町地域婦人団体協議会（6団体、62名） ②一戸町PTA連絡協議会（5校、521名） ③一戸町文化協会（21団体、157名） ④一戸ユネスコ協会 （団体会員33団体、個人会員92名）	—	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 対象団体等の事業実施に対する補助金交付、活動支援等を行い、活動の活性化が図られた。			

一戸町立図書館事業実施状況

A：計画以上の成果をあげた
B：達成できた
C：おおむね達成できた
D：達成できなかった

第3節 図書館の充実資料整備関係

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 資料等の収集・保存	①図書資料の収集・保存 地域課題解決、また教養の向上、レクリエーション等のため、図書資料の収集と保存を図る。 ②逐次刊行物の収集・保存 時事的な情報収集のため、新聞・雑誌・フリーペーパー等の収集と保存を図る。 ③郷土資料・行政資料の収集・保存 町の情報収集機関として、積極的に郷土・行政資料及び地図の収集と保存を図る。 ④視聴覚資料の収集・保存 地域関連資料、教養の向上、およびレクリエーション等のため、視聴覚資料の収集を図る。	-	B
2. 資料提供サービス	①貸出・閲覧等の資料提供 情報提供機関として、利用者の求める資料の提供により、利用者の課題の解決や教養の向上、レクリエーション活動への支援を図る。 ②予約・リクエストサービス 利用者が要求する情報を確実に提供するため、予約・リクエストを受付け、新規購入・相互貸借等により利用者に資料を提供する。 ③ 図書館間資料相互貸借サービス 図書館ネットワークを通じ、当館に所蔵しない資料について、他館より借受けて利用者に提供するほか、当館から他館への貸出も行う。 ④レファレンスサービス 利用者から各種問合せに応じ、資料の提供を通じて問題解決への協力を行う。 ⑤障がい者サービス 町民を対象に、読書活動及び図書館の利用に困難がある方への支援（個人宅配など）を行う。また大活字本等の収集・提供を行う。 ⑥出前貸出サービス「そよかぜ号ミニ」 町内 24 サービスポイントを毎月 2 日間巡回し、介護や保育施設などに本の配送を行う。 ⑦団体貸出 町内の団体利用者に（学校、施設等）に図書を貸出する。	- - - - 随時 4 月～3 月 月 2 日巡回 随時	B
3. リサイクル市 (町立図書館除籍資料等リサイクル事業)	○期日 11 月 28 日～11 月 30 日 ○内容 不要除籍資料等は無償で図書館利用登録者に配付する。	303 人	B
4. 蔵書点検	○期日 6 月 23 日～6 月 30 日 ○内容 資料の適正管理のため蔵書の一斉点検を行った。	-	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
5. 町内図書蔵書情報共有化事業	町立図書館、地区センター図書室、御所野縄文博物館及び小中学校図書館の蔵書情報の共有化し、図書資料の有効活用を図っている。	-	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 蔵書点検の実施により適正な資料管理を図ることができた。 ○ 医療、介護・福祉、教育・子育て支援、ビジネス支援等の最新資料を適宜収集することで、利用へのニーズに応えている。 ● 郷土資料の収集・整理・登録を進め資料管理を適正に行いたい。			

利用促進関係

事業名	実施内容	参加人数	評価
6. 連携関係	①地区センター図書室との連携 資料の入れ替えや図書室の環境整備、文化祭での資料展示等を行う。 ②読書グループとの連携 資料や小道具の貸与、各種研修会・補助金等の情報提供を行う。 ③学校図書館との連携 ・図書館環境整備（毎月1回） ・資料展示、システム指導などの支援。 ・職場体験・施設見学・調べ学習受入。 ④町役場との連携 広報編集委員や町民セミナー等での資料展示。	-	B
7. 出前図書館	町内外の教育施設等に出向き各種事業を行った。 ブックトーク 5件 一戸南小学校 読み聞かせ 1件	-	B
8. パソコンコーナー開放サービス、Free Wi-Fi	情報収集ツールとしてのインターネットや、職業訓練等での練習としてパソコンの開放。また一戸町 Free Wi-Fi の設置により、利用の便を図っている。	-	B
9. 図書館広報	各種媒体を通じた広報活動で利用促進を図った。 ①一戸町広報誌「いちのへ」 ②図書館広報紙「ぶっくんレター」 ③一戸町定例記者懇談会 ④新聞各社、カシオペア連邦イベント情報 ⑤ホームページ、SNS ⑥fam 公式サイト「famweb」	-	B
10. ブックスタート事業	①ブックスタート ○期日 年5回 総合保健福祉センター ○内容 幼児期から親子で読書に親しむ環境づくりの形成を目的に、離乳食教室時（3～5か月児とその保護者対象）に職員が出向き、絵本2冊を贈りその場で読み聞かせを行う。	① 15組	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
	②ブックスタートプラス ○期日 隔月第1水曜日 総合保健福祉センター ○内容 ブックスタートのフォロー事業として、親子で読書に親しむ環境づくりの形成を目的に、3歳児健診時に図書館職員が出向き、絵本1冊を贈る。また、ブックスタート事業のアンケートをとり事業効果を検討する。	② 32組	
11. 一戸町立図書館POPコンテスト2025	○期日 募 集 7月18日～8月31日 ○内容 POP作品を募集し読書活動の推進を図る。入選者は全国コンテストへ推薦する。	応募点数 65点 入選点数 30点 うち全国入賞 11点	B
12. 第1回一戸町立図書館読書標語・図書館ポスターコンクール	○期日 募 集 12月2日～1月25日 ○内容 地域参加型事業としてコンクールを実施し、読書活動推進と図書館利用促進を図る。	応募点数 47点 入選点数 29点	B
13. 地域おこし事業	①こぎん刺し×紙刺繍の栞づくり ○期日 5月18日 一戸町コミュニティセンター ○内容 こぎん刺し作家中村智子氏と町内の手刺繍作家来田舞子氏を講師にこぎん刺しで作る紙刺繍の栞づくりを行った。 ②図書館フィールドワーク in 一戸城 ○期日 5月31日 一戸城跡、一戸町コミュニティセンター ○内容 世界遺産課菅野紀子氏を講師に一戸城跡のフィールドワークを行った。 ③串もち作り体験 ○期日 9月7日 一戸町コミュニティセンター ○内容 岩手県食の匠戸来雅美を講師に串もち作り体験を行った。 ④ミズキ団子づくり ○期日 1月12日 一戸町コミュニティセンター ○内容 地域の受け継がれてきた伝統行事を体験するため、食生活改善推進協議会と協力しミズキ団子づくりを行った。	① 20名 (付添含 26名) ② 15名 ③ 8組 13名 ④ 20名	A
14. サイエンス講座	①アストロライブラリー／星空観察会 ○期日 ア. 7月27日 一戸町コミュニティセンター イ. 11月15日 一戸町コミュニティセンター ○内容 観光天文台台長、副台長を講師に、テーマに関する講話や星空観察会を行った。 ②わくわく♪サイエンス図書館 ○期日 ア. 12月20日 一戸町コミュニティセンター イ. 3月21日 奥中山地区センター 【参加者なしのため中止】 ○内容 幼少期から科学分野への興味関心を持ち観察し調べる力・考える力を養うことを目的に、幼児向けの実験や工作を行う。	①ア. 10名 イ. 12名 ②ア. 15名 イ. - 名	B
15. 第7回子ども司書講座	○期日 8月7日 一戸町コミュニティセンター ○内容 小学3～6年生を対象に、読書活動のリーダーとして活躍できる児童の育成を図った。	9名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
16. 自由研究応援隊・「図書館を使った調べる学習コンクール」	①入賞作品複製展示 ②調べる学習教室 ○期日 7月21日 ○内容 県北教育事務所より講師を招いて調べ学習教室を行った。	① - 名 ② 9名	A
17. 映画会	①としょかん映画会ふらす 一戸町コミュニティセンター ○期日 毎月第1土曜日 ○内容 幼児から小学生向けの映画会を実施。また、上映の他、映画の内容に関連した簡単な工作や読み聞かせなどを行う。 ②くらやみシアター 一戸町コミュニティセンター ○期日 8月2日 ○内容 夏休みに「こわいはなし」をテーマに、絵本等の読み聞かせと、映画会を実施。 ③冬休み直前特別☆としょかん映画会 ○期日 12月6日 ○内容 小学生向け映画会を実施。 ④春休みおはなしシアター ○期日 3月7日 ○内容 春休みに、幼児から小学生向けの映画とおはなし会を実施。 ⑤リーヴルシネマ 一戸町コミュニティセンター ○期日 年6回 ○内容 一般向けの映画会を実施。	①延べ166名 ② 61名 ③ 48名 ④ 17名 ⑤延べ253名	A
18. とことこおはなし会	○期日 毎月第3金曜日 地域子育て支援センターのびのび ○内容 0～3才児を対象に、絵本や紙芝居の読み聞かせと手遊びを実施した。	延べ63名	B
19. 読書週間行事	①こども図書館まつり ○期日 4月23日～5月12日 図書館内 ○内容 こどもの読書週間に合わせおはなし会＋工作やナゾトキイベントを実施。本を借りた子どもにガチャポン（景品）を渡した。 ②読書週間 ア. 読書スタンプラリー ○期日 10月1日～12月28日 図書館内 ○内容 読書に親しむことを目的にスタンプラリーを開催し景品をプレゼントする。 イ. ぬいぐるみおとまり会 ○期日 11月3日 一戸町コミュニティセンター ○内容 おはなし会とぬいぐるみのおとまり会を実施。翌日迎えに来た児童へミニアルバムを手渡した。 ③岩手の読書週間 ア. 「こびとまちがいさがし」 2/1～2/14 イ. 「大西暢夫パネル展」 2/1～2/14 ウ. としょかん映画会×おはなしボランティアおはなし会 2/7 エ. ボードゲームであそぼう！ 2/14	①延べ246名 おはなし会＋工作 20名 ナゾトキ 50名 ガチャポン 176名 ② ア. 207名 イ. 9名 ③ ア. 91名 イ. - 名 ウ. 29名 エ. 12名	A

事業名	実施内容	参加人数	評価
20. 朗読教室	①連続講座 朗読教室 ○期日 全7回 一戸町コミュニティセンター ○内容 朗読アドバイザーの杉山ひさ子氏を講師に、朗読技術や発声方法などを学び、発表会（10/25）で成果を披露する。 ②朗読会 ○期日 全9回 一戸町コミュニティセンターほか ○内容 受講生3名と講師計4名による朗読会。会場、小道具づくり、音楽などを参加者が手掛ける。「大人のための朗読会」（2/8）を開催。	① 参加者7名 発表会聴衆 12名 ② 参加者4名 朗読会聴衆 28名	A
21. キャリア人材育成事業	「お仕事体験 station staff～駅員のおしごと～」 ○期日 10月13日 一戸町コミュニティセンター ○内容 IGRいわて銀河鉄道の職員を講師に鉄道員の仕事体験を行った。	30名 (付添含 49名)	A
22. ライフプラン支援講座	「親子向け出張授業 おこづかいからまなぶお金の話」 ○期日 3月20日 一戸町コミュニティセンター ○内容 金融経済教育推進機構（J-FLEC）の方を講師に招き、親子向けのお金に関する講話を実施する。	7組 (付添含 16名)	B
23. 図書館ホームページ説明会	○期日 4月27日 一戸町コミュニティセンター ○内容 利用者自身のスマホやタブレットを使用した本の延長や予約、Web 利用者カードなどの利用方法の説明会を実施した。	5名	B
24. 地域連携	①「オレンジカフェさくら」での出前図書館（いちのへチームオレンジさくらの会主催） ア. オレンジカフェ in コミュニティセンター ○期日 毎月第3土曜日 一戸町コミュニティセンター ○内容 認知症カフェ参加者へ向け、読み聞かせや関連図書の紹介を実施。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋げる。 イ. オレンジカフェ地域巡回型 ○期日 毎月1回 町内各地区を巡回（3・4月は調整のため実施なし） ○内容 認知症カフェ参加者へ向け、読み聞かせや関連図書の紹介を実施。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋げる。 ②「共生社会を目指したリンクウォーク」（いちのへチームオレンジさくらの会主催） ○期日 9月23日 御所野縄文博物館 ○内容 チームオレンジとしてリンクウォーク当日スタッフとして活動した。 ③「ふれあい・いきいきサロン」での出前図書館（一戸町社会福祉協議会主催） ○期日 年2回 檜山地区 ○内容 参加者へ向け、読み聞かせや工作を実施。長期貸出し利用促進に繋げる。 ④「ぬいぐるみおとまり会 in 御所野縄文博物館」（御所野縄文博物館主催） ○期日 6月21日 御所野縄文博物館 ○内容 読み聞かせなどを行った。	① ア. 延べ 366名 イ. 延べ 197名 ② 303名 ③ 延べ 17名 ④ 11名	B

事業名	実 施 内 容	参加人数	評価
	⑤「こども食堂ひなたぼっこ」での出前図書館 (奥中山高原クラブ主催) ○期日 年2回 奥中山地区センター ○内容 読み聞かせを実施。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋げる。 ⑥「町民セミナー」での出前図書館 (一戸町教育委員会主催) ○期日 年7回 一戸地区センター、奥中山地区センター ○内容 会場内に図書展示を実施。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋げる。 ⑦戦争と暮らし回顧展 (一戸ユネスコ協会主催) ○期日 8月9日～8月17日 一戸町コミュニティセンター ○内容 「平和の鐘を鳴らす会」の会場及びロビーに戦争関連展示を行った。 ⑧「いちのへの宝展」での資料展示 (一戸ユネスコ協会主催) ○期日 2月13～15日 一戸町コミュニティセンター ○内容 「奥中山開拓の歴史」の展示。 ⑨「結カフェお話会」 (結カフェ主催) ○期日 月1回 結カフェ ○内容 従業員を対象に読み聞かせを実施。 ⑩「いちのへ緊急クマ対策ミーティング」 (産業部農林課主催) ○期日 9月23日 ○内容 会場内に図書展示を実施。貸出も可能とし、図書館利用促進に繋げる。 ⑪「里親制度啓発展示」 (里親支援センターぜんゆう主催) ○期日 1月26日～2月5日 ○内容 里親制度に関する資料の展示。	⑤延べ110名 ⑥延べ257名 ⑦ - 名 ⑧延べ344名 ⑨延べ79名 ⑩ 90名 ⑪ - 名	
25. 各種企画展示	①Library&Community (一般書企画展示) ○期日 常設(隔月でテーマ変更) ○内容 社会問題や時事、暮らしや生涯学習に役立つテーマの資料展示。 ②おしごとサポート (一般書企画展示) ○期日 常設(隔月でテーマ変更) ○内容 ビジネス・産業支援の資料展示及び、就職支援情報を収集、掲示。 ③文学の森 (一般書文学企画展示) ○期日 常設(隔月でテーマ変更) ○内容 文芸書のテーマ展示。 ④ティーンズ・ラボ (中高生向け企画展示) ○期日 常設(隔月でテーマ変更) ○内容 中高生向けの資料展示。 ⑤It's ニュース速報展示 ○期日 常設(毎日変更) ○内容 日々の社会問題及び関連資料の展示。	-	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
	⑥HOT TOPIC 短期テーマ展示 ○期日 常設（随時変更） ○内容 社会問題に関連する資料の展示。 ⑦ぶっくん研究室（児童書企画展示） ○期日 常設（隔月でテーマ変更） ○内容 調べ学習資料の展示。 ⑧ちいさな本だな（絵本展示） ○期日 常設（隔月でテーマ変更） ○内容 絵本の資料展示。 ⑨児童展示 ○期日 常設（隔月でテーマ変更） ○内容 小学生を対象に児童文学を展示。 ⑩児童季節展示 ○期日 不定期 ○内容 行事の絵本や児童文学等を展示。 ⑪この本よんだ？（良書展示） ○期日 常設（通年） ○内容 児童向けの良書を複本で用意し展示。 ⑫絵本セット貸出 ○期日 常設（通年） ○内容 司書おすすめの本をテーマ毎にセット貸出 ⑬原作d e 先読み（話題本展示） ○期日 常設（随時） ○内容 映画やドラマの原作本展示。 ⑭特別展示 ○期日 不定期 ○内容 時節や話題の本、県立図書館巡回展、本の福袋など貸出・展示する。 ⑮郷土の先人 ○期日 常設（通年） ○内容 三浦哲郎、舟越保武などの資料展示。 ⑯御所野遺跡 ○期日 常設（通年） ○内容 御所野遺跡、北海道・北東北の縄文遺跡群に関する資料の展示。 ⑰いわ 100&いわ 100 きっず ○期日 常設（通年） ○内容 県教育委員会で発行したおすすめ図書リストに掲載の本の展示。 ⑱キャリア教育（中高生向け常設展示） ○期日 常設（通年） ○内容 高校・大学等案内のパンフレットや関連図書を展示する。 ⑲りんごの棚 ○期日 常設（通年） ○内容 特別なニーズのある子どもが読書を楽しめるよう様々な形態の利用しやすい資料を一カ所に集めて展示する。 ⑳事業タイアップ展示 ○期日 不定期 ○内容 主催事業の周知・報告を目的に関連図書を展示する。		

成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）
○ 地域おこし事業やキャリア人材育成事業、参加者が作り上げる形で実施した朗読会など、学びの場の機会を創出し、図書館利用にも繋がっている。 ○ 読書週間行事（年３回）として、各種事業や展示を実施することで利用増に繋がっている。 ○ 図書館主催の映画会では、ニーズに合った作品の上映、リピートに繋げる工夫などを行い観覧者が増えている。 ○ 外部団体からの連携依頼が増え、読み聞かせや図書配本を行った。非来館者へ向け、運営の周知や図書館利用に繋がっている。 ○ 学校図書館連携事業では、小学校の学校司書配属もあり読書推進や学習支援に力を入れた図書館づくり進められている。今後も学校教育課と連携協力を図り事業を行いたい。 ● 時代とともに変化する利用者ニーズや行政施策を勘案しながら図書館運営を行う。 □ 新規サービスや事業などの時代に即した周知を強化する。 □ 読書バリアフリー（読書に障がいがある方や来館困難な方）に対応するため、障がい者サービスを見直し町民に周知する。

○その他

推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
26. 岩手県公共・大学・専門図書館等連絡協議会	○期日 2月18日 岩手大学図書館 ○内容 県内図書館による協議・情報交流。	1名	B
27. 一戸広報編集委員会	○期日 年6回 一戸町役場 ○内容 発行した『広報いちのへ』の意見を述べる。	1名	B
28. 一戸町学校司書・図書館業務担当者等研修会	○期日 6月5日 一戸南小 2月10日 一戸小 ○内容 学校司書と情報交換を行った。	4名 2名	B
29. 二戸地区社会教育部会別会議	○期日 5月15日、2月6日 二戸地区合同庁舎 ○内容 二戸管内の公共図書館の情報交流を図った。	2名	B
30. 管内子どもの読書活動推進連絡会議	○期日 5月22日 久慈市立図書館 ○内容 子どもの読書活動の振興について学んだ。	1名	B
31. 図書館専門研修会等	①北日本図書館大会秋田大会 ○期日 6月18日～19日 にぎわい交流館 AU ○内容 地域を支える図書館についての研修。 ②管内中・高図書館担当者等研修会 ○期日 7月4日 久慈地区合庁 ○内容 学校図書館連携についての研修。 ③図書館職員等中堅職員研修（オンライン） ○期日 7月16日 ○内容 中堅職員のための図書館研修。 ④職場のコミュニケーションu pセミナー ○期日 7月18日 二戸地域職業訓練センター ○内容 コミュニケーションについて学ぶ。 ⑤読書ボランティア養成・スキルアップ講座（オンライン） ○期日 8月6日 ○内容 児童サービスの幅広い知識の講座の聴講。 ⑥市町村立図書館専門研修（オンライン） ○期日 9月11日	① 1名 ② 1名 ③ 1名 ④ 1名 ⑤ 1名 ⑥ 1名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
	○内容 ジャパンサーチについての研修。 ⑦管内ボランティア等研修会 ○期日 9月12日 久慈市立図書館 ○内容 読書ボランティア事例の聴講。 ⑧読書のバリアフリーをすすめるために（オンライン） ○期日 9月19日 ○内容 読書バリアフリー支援の事例から学ぶ。 ⑨図書館職員・図書館協議会委員合同研修会 ○期日 10月2日 岩手県立図書館 ○内容 読書バリアフリーについて学ぶ。 ⑩北日本図書館連盟研究協議会 ○期日 10月3日 福島県立図書館 ○内容 地域の読書文化について学ぶ。 ⑪『この本読んで！』ONLINE 講座（オンライン） ○期日 1月16日 ○内容 岩波少年文庫の歴史や作品について学ぶ。 ⑫こどもの発達と絵本とのかかわり（オンライン） ○期日 1月31日 ○内容 絵本と親子間の愛着形成に関する講座。 ⑬埼玉県高校図書館イチョン本発表会（オンライン） ○期日 2月15日 ○内容 中高生向けの棚づくりや選書に役立てる。 ⑭国立国会図書館児童文学連続講座（オンライン） ○期日 2月27日 ○内容 児童サービスの幅広い知識の講座の聴講。	⑦ 1名 ⑧ 1名 ⑨ 1名 ⑩ 1名 ⑪ 2名 ⑫ 1名 ⑬ 1名 ⑭ 2名	
32. 先進地視察研修	二戸地区図書館職員等研修会 ○期日 8月18日～19日 秋田国際教養大学ほか ○内容 先進地図書館研修。また、二戸管内図書館職員との情報交流を図る。	2名	B
33. 館内研修	○期日 月末整理休館日（年5回） ○内容 職員が講師をつとめ、図書館サービスやレファレンスなどをテーマに研修を行い、講師側・受講側ともに研鑽を図る。	8名	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 図書館業務関連だけではなく運営に関わる研修にも積極的に参加し、業務に生かすことができた。 ○ 館内研修では平糠地区の歴史について地区の方を講師に招き研修を行い、歴史や金山について深く知る機会となった。 □ 図書館運営に関する国の方策に関するセミナーに参加し、運営見直しやサービス向上に努めたい。			

第2章 学校教育の充実

第1節 幼児教育・義務教育の充実

幼児教育の充実

A：計画以上の成果をあげた
B：達成できた
C：おおむね達成できた
D：達成できなかった

事業名	実施状況	実績	評価
1.「こ保小連携」研修事業	町内の認定こども園、保育所、小学校等の教職員による保育体験、授業参観や交流・懇談を通して、幼児教育から初等教育への接続期における望ましい指導のあり方等について研修を深めるとともに、相互の連携を図り一貫性を強化することにより、就学前教育及び小学校教育の振興充実に資する。 ①第1回こ保小連携研修会 ・期日：令和7年7月28日（月） ・対象：連携する保育施設及び小学校の教職員等 ・会場：いちのへじょうもんの里こども園、奥中山みどりの森こども園 ・内容：保育体験、情報交換 ②第2回こ保小連携研修会 ・期日：令和7年12月23日（火）奥中山会場 令和8年1月13日（火）一戸会場 ・対象：連携する保育施設及び小学校の教員等 ・会場：いちのへじょうもんの里こども園、奥中山みどりの森こども園 ・内容：保育体験、情報交換 その他、就学を控えたこども園年長児童が小学校を見学する交流事業を2回実施した。	【研修会参加人数】 ① 18名 ② 19名	A
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 当町幼児教育アドバイザーより保育の視点について教職員へ説明することで、保育に関する理解が深まった。 ○ わずかな時間ではあったが、園児一人一人の特徴や、園での保育の様子、また、保育者への関わりの工夫を知ることができた。 ○ 小学校教員が自分なりに考え、園児と接する様子が見られた。 ○ 園の様子を知ること、小学校でも取り入れられることや活かせることを考えることができた。 ○ 連携する各園と小学校で連携の在り方を模索し、自主的に研修を行うことにつながっている。 ○ 前年度まで連携事業に参加していなかった園、学校も参加し、町内全ての園、学校が事業に参加した。次年度以降もこの連携の流れを継続し、子どもたちが安心して小学校に入学することを支援していく。			

自ら学ぶ意欲の育成と基礎学力の向上

事業名	実施状況	実績	評価
2. 学力向上の推進	◆学力向上推進委員会の開催 ・ 町内の小中学校の教員の中から学力向上推進委員を委嘱し、基礎学力定着のため調査研究し、一戸町教育水準の向上と充実に資する。 ・ 委員（6名）による学力検査の分析を行い、分析資料のまとめと今後の活用の在り方としての具体例等について検討した。 ◆読書推進活動 ・ 全児童を対象に学年ごとの年間目標読書冊数（低80冊、中60冊、高40冊）を設定し、達成できた児童には報奨品を与えることにより、読書意欲の向上を図っている。 ・ 学校司書・図書館業務担当者研修会（年2回） ◆図書贈呈事業 ・ 子どもが読書などに主体的、意欲的に取り組める環境づくりを進めることを目的に、町立小・中学校の入学者を対象に図書贈呈事業を実施した。 ◆学校図書館の整備充実 ・ 蔵書情報の共有化や図書資料の有効活用について、町立図書館と連携を図っている。 ◆英語検定、日本語検定、数学検定、漢字検定の検定料の補助 ・ 町内の小学生・中学生を対象に、英語検定、日本語検定、数学検定、漢字検定の検定料を年1回に限り補助することで、生徒の英語や漢字、数学の力を高めることに資する。 令和7年度は英語検定を一戸会場だけでなく奥中山会場でも実施し、児童生徒が受検しやすいよう取り組んだ。	2回開催 目標達成児童数割合 96% 【贈呈者数】 小学校1年生 : 47名 中学校1年生 : 74名 一戸小学校、一戸南小学校、奥中山小学校の3校に学校司書を配置 【延べ受検者数】 補助金利用 130名 自己負担（2回目受検等） 16名	B

自ら学ぶ意欲の育成と基礎学力の向上

事業名	実施状況	実績	評価
3. 学力向上の推進	◆土曜学習 ・公営塾が運営主体となり中学3年生の希望者を募り開催し、高校受験に向けた個別の課題の克服を目的として一人ひとりに応じた学習を進める。	【受講者数】 27名	B
4. 諸検査・調査の実施	◆知能検査 ・検査対象：小学校2、4学年・中学校1学年 ◆学力検査の実施 ・検査対象：小学校全学年・中学校1、2学年 ・検査教科：小学校 国語・算数 中学校1年 国語・数学 中学校2年 国語・数学・社会・理科・英語 ◆学習定着度状況調査（実施主体は岩手県） ・検査対象：小学校5学年・中学校2学年 ・検査教科：小学校 国語・算数・質問紙調査 中学校 国語・数学・質問紙調査 ◆全国学力・学習状況調査（実施主体は国） ・検査対象：小学校6学年・中学校3学年 ・検査教科：小学校 国語・算数・質問紙調査 中学校 国語・数学・質問紙調査	全検査及び調査を予定どおり実施した。	B
5. 学校支援員の配置	学習面で遅れが見られる児童生徒に対し、きめ細やかな指導を行い、学習内容の理解と定着を図った。 また、知的障がい、軽度発達障がい等児童生徒への対応も行っている。	【配置校】 一戸小 3名 一戸南小 3名 奥中山小 2名 一戸中 2名 奥中山中 3名 計13名	B
6. 学力向上支援員の配置	児童生徒の基礎学力向上のため、学力向上支援員を配置して指導の強化を図った。	【配置校】 一戸小 1名 一戸中 1名 奥中山中 1名 計3名	B

成果と課題（○:成果、●:課題、□:対策）
○ 学力向上の推進については、学力向上推進委員会において各校の課題と参考になる事項等を共有することにより町全体の学力向上の意識をもたせることができた。また、授業と家庭学習の連動や学力調査結果を活用し授業改善を行う等、学校の組織的な取組が進められている。 ○ 読書推進活動においては目標達成児童数の割合が高く、読書意欲は依然として高い。 ○ タブレットを活用し、多様な学習活動を展開している。 ○ 各種検定について、人員体制等の都合から昨年度奥中山会場を一戸会場のみに統合して実施したが、奥中山方面の受検者増加を目的に、令和7年度は奥中山中学校の協力も受けて英語検定は奥中山会場と一戸会場の2会場で実施したところ、奥中山方面の受検者が増え、全体の受検者数を増やすことができた。令和8年度についても人員体制や会場の調整を行い、複数会場での実施をすることで児童生徒への積極的な受検を促していく。 ● 特別支援学級生徒の学びの保障に課題がある。 □ 個別対応ができる職員の配置。 ● 自主学習としての家庭学習習慣の定着が課題。 □ 強化週間の設定など少しずつ取り組む。

社会の変化に対応した教育の充実

事業名	実施状況	実績	評価
7. 中高生の国際交流事業	- 平成18年度より軽米町との合同により海外派遣事業を行ってきた。 - 平成21年度は新型インフルエンザの世界的な流行等をふまえ実施を見送ったが、平成22年度から再開し、平成25年度からは新たに一戸高校から団員を派遣している。 - 令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止し、令和3年度、4年度は研修地を国内として実施した。 - 令和5年度からは新型コロナウイルスの5類移行を契機にして国内・海外への旅行が民間でも再開されつつあったことから、海外への派遣を再開した。一方で、戦争や円安による経費の高騰から、参加者と日数をコロナ前に比べ縮小して実施した。 - 令和6年度は5年度に引き続き海外への派遣を実施。費用の高騰に伴い中学生の参加者を1名削減して実施した。 - 令和7年度は新たに九戸村が加わり、3町村合同で海外派遣を実施した。 研修期間：令和8年1月4日から10日まで 研修場所：アメリカ合衆国 オレゴン州 ポートランド	【参加生徒数】 一戸中 4名 奥中山中 1名 北桜高 2名 (軽米中3名、軽米高2名、九戸中3名、伊保内高2名)	B

事業名	実施状況	実績	評価
8. 一戸町中学生英語キャンプ事業	・ 中学1年生を対象とし、外国語指導助手（ALT）との活動や同世代との交流、異文化の見聞、英語を使ったコミュニケーションなどの成功体験による事後の学習意欲の向上が望める事業として実施している。 実施期間：令和7年8月5日から8月6日まで 実施場所：奥中山高原センターハウス	【参加者数】 一戸中 2名 奥中山中 2名 ALT 3名	C
9. いちのへ未来会議の実施	・ 町内中学生が感じる一戸町の未来に関わるテーマについて、町の代表者である町長と意見を交わすことにより、一戸町の将来やまちづくりへの関心を高め、ふるさと「いちのへ」を見直すことで、他に誇れる地域の魅力を自ら見つけ出し、未来につながる具体的な行動を主体的に考え実践できる人材を育成することを目的にいちのへ未来会議を実施した。 いちのへ未来会議：令和7年7月8日（火）	【参加者数】 一戸中 10名 奥中山中 5名	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 中高生国際交流派遣事業は、令和7年度から新たに九戸村が加わって三町村合同で実施し、全員での事前研修や現地での様々な体験を通して参加生徒たちは充実した研修を行うことができた。 ○ いちのへ未来会議を通じて、未来につながる具体的な行動を主体的に考え実践できる人材の育成に寄与することができた。また、いちのへ未来会議を実施したことで町の施策に対する生徒の意見を聞く機会とすることができた。 ● 海外派遣は航空運賃はじめ各種経費の高騰が続いている。また、国際情勢の影響から、派遣規模・派遣先・内容の見直しを継続して行う。 □ 派遣先の変更。 □ 中学生英語キャンプ事業については、各学校から一定数の参加が見込まれるよう、内容の明示を行い積極的な参加勧奨を行う。			

健康教育の推進

事業名	実施状況	実績	評価
10. 学校保健研究大会	毎年度、健康教育の推進に資するため、一戸町学校保健会との共催により研究大会を開催しており、令和7年度は、第42回の研究大会を、オンデマンド型で実施することができた。	オンデマンド型の研究大会を実施することができた。	B
11. 表彰関係	令和7年度岩手県学校歯科保健優良校表彰 優良校：一戸小学校 優秀校：一戸中学校	学校歯科保健優良校表彰において、町内2校が表彰された。	B

成果と課題（○:成果、●:課題、□:対策）
○ 研究大会を実施し、学校や家庭との連携や保健活動の充実を図ることができた。昨年度とは異なりオンデマンド開催での実施であったが、多くの関係者に参加してもらうことができた。 ● 近年、肥満傾向児の出現率が高値となっている状況である。 □ 行政と学校・家庭との連携を強化し、長期休業前の個別面談等の対応についても引き続き行っていく。

心の健康問題対策の充実

事業名	実施状況	実績	評価
12. 生と性を考える学習会	二次性徴による著しい体の変化、それに伴って起こる不安や悩みを軽減するため、町内各中学校の2学年を対象に実施した。	町内中学校2校で実施した。 一戸中 49人 奥中山中 16人	B
13. スクールカウンセラー活用事業	学校における教育相談体制の充実や教員の資質向上を図るため、臨床心理に関して高度に専門的な知識及び経験を有する方をスクールカウンセラーとして配置した。	【配置校】 一戸小学校 一戸中学校 奥中山中学校 (一戸小、奥中山中は1人で兼務)	B
成果と課題（○:成果、●:課題、□:対策）			
○ 性教育だけでなく、自分や他者を大切にする人間関係を築くことができた。 ○ スクールカウンセラーは町内に2名配置され、配置が必要な学校をカバーしている。			

第2節 学校、家庭、地域の連携による「地域とともにある学校」づくりの推進

地域の特色を生かした開かれた学校づくり

事業名	実施状況	実績	評価
1. 学校運営協議会	令和6年度に小学校2校が閉校し、統合先の運営協議会において、新たな体制により学校と家庭・地域が目標を共有し、地域連携・協働の充実に向けた協議を行った。	町内全ての小・中学校で年間を通して運営を行っている。	B
2. 学校へ行こう	開かれた学校づくりを目指し、学校公開を実施することにより、学校の特色を多くの町民に知ってもらう。	4月、11月の2回実施し、それぞれの学校で授業参観等を行った。	B
成果と課題（○:成果、●:課題、□:対策）			
○ 町内の全学校で運営協議会を年2～3回開催し、目標に向けた協議することができた。 ○ 「学校へ行こう」を2回実施することができた。			

第3節 特別支援教育の充実

適切な就学指導の推進と特別支援教育の充実

事業名	実施状況	実績	評価
1. 教育支援委員会	・ 総会の開催（委員 21 名） ・ 専門部会の開催（2 回 委員 15 名） 各学校、認定こども園、保育所等からの個別検査の依頼を受け、個別検査の分担と業務の推進を確認した。 個別検査結果を分析し、総合審査会議への提出資料を作成した。 ・ 総合審査会議では、心身障がい児の総合審査と、教育措置について審議した。 ・ 総合審査会議で審査できなかつたり、緊急で審査を行う必要が生じた児童生徒については、臨時審査会議を実施して心身障がい児の総合審査と、教育措置について審議した。	【総合審査人数】 就学児：21 名 小 1 ～ 中 3： 71 名	B
2. 学級支援員の配置 【再掲】 2 章 1 節 5	学習面で遅れが見られる児童生徒に対し、きめ細やかな指導を行い、学習内容の理解と定着を図った。 知的障がい、軽度発達障がい等児童生徒への対応も行っている。	【配置校】 一戸小 3 名 一戸南小 3 名 奥中山小 2 名 一戸中 2 名 奥中山中 3 名 計 13 名	B 【再掲】
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 就学支援については、健康子ども課や認定こども園、保育所等との連携を図りながら、支援を必要とする幼児等の適切な就学に向けた支援ができた。また、学級支援員等の配置により、特別支援学級等に在籍する児童の安全確保ときめ細かな指導を行うことができた。 ● これまで各学校の教諭が児童生徒の個別検査をする際に使っていた検査方法の W I S C Ⅲ は検査用紙が絶版になっており、最新の W I S C V を使う場合には検査をできる者が限られ、研修を受講することが必須条件となることから、令和 8 年度は検査方法を田中ビネーに変更して実施する方針としている。 □ 児童生徒の検査対象者数が年々増加している中で、検査できる人員確保のため、令和 8 年度は、研修会を実施して対応する。			

第4節 小中学校の教育環境の整備充実

学校教育機関の施設・設備の計画的な整備充実

事業名	実施状況	実績	評価
1. 各種修繕工事	小中学校校舎等維持管理のための各種修繕を行う。	各小中学校の要望箇所について確認を行い、計画的に修繕を行った。	B
2. 一戸小学校、一戸南小学校、奥中山小学校トイレ便座更新工事	教育環境の改善のため、更新工事を行ったもの。	【工事費】 1,980,000 円	B
3. 一戸南小学校玄関修繕工事	経年劣化により、修繕工事を行ったもの。	【工事費】 800,800 円	B
4. 一戸南小学校掲示板取付工事	教育環境の改善のため、設置工事を行ったもの。	【工事費】 179,498 円	B
5. 一戸南小学校駐車場設置工事	敷地内の安全確保のため、設置工事を行ったもの。	【工事費】 900,000 円	B
6. 奥中山小学校屋外プール屋根修繕工事	経年劣化により、修繕工事を行ったもの。	【工事費】 3,674,000 円	B
7. 奥中山小学校体育館ミーティング室エアコン設置工事	教育環境の改善のため、設置工事を行ったもの。	【工事費】 297,990 円	B
8. 一戸中学校塩素注入機設置工事	教育環境の改善のため、設置工事を行ったもの。	【工事費】 725,400 円	B
9. 一戸中学校高架水槽室換気扇取付工事	教育環境の改善のため、設置工事を行ったもの。	【工事費】 275,000 円	B
10. 一戸中学校各教室日程黒板貼替交換工事	経年劣化により、交換工事を行ったもの。	【工事費】 705,320 円	B
11. 一戸中学校屋内運動場暗幕交換工事	経年劣化により、交換工事を行ったもの。	【工事費】 5,128,000 円	B
12. 一戸中学校東階段手摺設置工事	教育環境の改善のため、設置工事を行ったもの。	【工事費】 394,900 円	B
13. 奥中山中学校電話機増設工事	教員の勤務環境の改善のため、設置工事を行ったもの。	【工事費】 106,700 円	B

事業名	実施状況	実績	評価
14. 理科教育設備 整備費等補助金 (国庫補助事業)	小学校3校、中学校2校を対象に、理科、算数・ 数学設備について次のとおり備品を整備した。 ・小学校・・・電気測定用具、空気の学習用具、温度 測定用具、実験支援器具、生物の飼育・栽培用具、 物の運動の学習用具、数と計算説明器具 ・中学校・・・定温器、顕微鏡、力の実験用具、電流 と磁界の実験用具、光の実験用具	【整備額】 ・小学校 615,122 円（補助 279 千円） ・中学校 583,600 円（補助 265 千円）	B
15. 教材備品整備	備品購入を希望する全学校を対象に教材備品を整 備した。	【整備額】 ・小学校 2,136,651 円 ・中学校 475,428 円	B
成果と課題（○:成果、●:課題、□:対策）			
○ 各種修繕等を計画的に行い、安全な学習環境の整備が図られた。 ○ 理科、算数・数学設備備品を購入することにより、学習に必要な教材、設備を整備した。			

校外学習の輸送手段の整備

事業名	実施状況	実績	評価
16. スクールバス 運行管理	引き続き8台のスクールバスを町内のタクシー会社 へ運行委託し、児童生徒の登下校及び校外活動等へ事 故無く運行できた。	スクールバス8台	B
成果と課題（○:成果、●:課題、□:対策）			
○ 鳥海小・小鳥谷小の統廃合により経路や運行時間の変更があったが、各学校の児童生徒数に合 わせてスクールバスを運行できた。			

安全指導体制の確立と安全管理の徹底

事業名	実施状況	実績	評価
17. 災害共済給付 事業	学校の管理下における児童生徒の傷害等に対する掛 金を負担し、災害時における医療費等の自己負担分を 給付した。	・給付件数：62 件 ・給付額 561,486 円	B
成果と課題（○:成果、●:課題、□:対策）			
○ 全児童生徒加入により、学校管理下での傷害等に対し、金銭的給付を行い、保護者の負担軽減を 図った。			

安全・防災に関わる連携強化と実践活動の充実

事業名	実施状況	実績	評価
18. 地域ぐるみの学校安全体制整備推進事業	地域との連携を重視し、地域のボランティアを活用するなど地域社会全体で学校安全に取り組む体制を整備し、安全で安心できる学校が確立されるよう取組を行う。 ・ スクールガードリーダーによる学校の巡回指導 ・ 一戸町交通指導隊長をスクールガードリーダーに委嘱し、町内小学校の登下校時に巡回指導を実施。 ・ 学校安全ボランティア（スクールガード）養成講習会 二戸警察署より講師を招き講演会を実施。 実施日：令和7年11月27日（木） 場 所：一戸町役場3階大会議室	・ 児童及び生徒が巻き込まれる事件事故を未然に防止することができた。	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 全校のスクールガードを集め養成講習会を行った。スクールガード同士の児童生徒の登下校時の危険な状況や危険箇所等の情報交換の機会となった。 ● 人口減少、高齢化や、ライフスタイルの変化もあり、スクールガードの担い手が減少している。 □ 担い手の確保に協力して取り組む。また、クマの出没情報が増加しており、クマ撃退用スプレーを配付し、活動時の安全確保を行った。			

健康管理体制の見直しと推進

事業名	実施状況	実績	評価
19. 学校健康管理事業	児童生徒が心身ともに健康であるために、毎年定期健康診断を実施し、疾病異常の早期発見、早期治療に努めている。また、教職員の健康管理にも努め、健康診断の結果に基づいて適切な事後措置を講ずるため、町内全学校に学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱した。 昨年度に引き続き、フッ化物洗口を実施する学校に対し薬剤等購入に係る経費を全額負担した。また、平成28年度から必須検診項目となった運動器検診については、引き続き内科検診及び就学時健診時に実施した。	児童生徒及び教職員の各種健康診断について、適切に実施した。	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 各種健康診断の結果に基づいた事後指導に努めるとともに、学校、保護者、学校医との連携を深めた。 ● 肥満傾向児への対応について各小中学校養護教諭及び関係機関と連携を図る。			

第5節 学校給食の充実

食育の推進

事業名	実施状況	実績	評価
1. 学校給食	・1食給食単価 小学校 245 円・中学校 274 円 (児童生徒の給食費はそれぞれ 56 円を減額) ・給食日数及び食数 小学校：179 日 68,015 食 (二戸北星支援学校分含む) 中学校：183 日 50,237 食 (二戸北星支援学校分含む)	安全・安心でおいしい給食を提供することにより児童・生徒の心身の健全な発達に寄与した。	B

食育の推進

事業名	実施状況	実績	評価
2. 学校訪問指導等	・学校訪問による食育の指導 ・献立表・食育だより・献立カレンダーによる食に関する情報の提供(月1回)	学校訪問による食育指導を24回実施した。	B
成果と課題 (○:成果、●:課題、□:対策)			
○ 栄養バランスの取れた食事内容となるよう工夫し、衛生管理の徹底や食物アレルギー対応給食に対応するなど、安全でおいしい給食の提供ができた。 ○ 学校訪問指導について、昨年度と同数実施し、「栄養バランスのとれた食事を考える」指導で児童・生徒が考えた献立を実際の給食に取り入れた。			

学校給食の内容改善の促進

事業名	実施状況	実績	評価
3. アレルギー対応	「一戸町アレルギー疾患対応指針」により詳細献立を作成し、学校へ配布した。詳細献立をもとに保護者等の指示もしくは児童生徒自身の判断で原因食物を除去して食べられる場合は給食を提供し、それが難しい場合は弁当対応とした。 ・対象児童生徒数：29 名 うち、弁当対応 4 名	アレルギーを持つ児童生徒に対し、安全な給食を提供することができた。	B

4. 地元農産物の活用	◆安全・安心な給食を提供するため、地元農畜産物を給食に使用した。 ・米：あきたこまち（町内産） ・野菜・果物類：サラダボウル・こずやを中心に町内産の野菜・果物を購入し使用した。 ・牛乳：奥中山高原農協乳業の牛乳を使用した。 ◆県産品である豚肉・鶏肉・短角牛などの肉類や、野菜類、海藻類、雑穀類を使用した。 ◆地元企業を活用する観点から、町内にある福祉施設「カナン牧場」のパンを月1回程度提供した。	◆取り入れた町内産食材 米、きゅうり、大根、ねぎ、ピーマン、アスパラガス、しいたけ、りんご、牛乳、ヨーグルト、奥中山高原牛	B
5. 給食の活用	・奥中山産の「本州一早い」アスパラガスを給食に使用した。 また、奥中山小学校で生産者による授業が行われた。	R7.12.5。	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ アレルギー対応について、アレルギー疾患の状態と管理における共通理解が図られ、アレルギーを持つ児童生徒に対し、安全な給食を提供することができた。また、給食の活用においては、学校給食を通して、縄文時代の食生活を学ぶ機会を提供することができた。 ● 地元農産物の活用において、献立にあわせた野菜の納入時期の確保、冬場の供給確保が課題。 一戸産（JA）の「精米」10kg 単価が岩手県学校給食会（県産銀河のしずく）の単価に比し1,350円ほど割高。（年間使用量 約8,400kg） □ 児童・生徒の食育には、副菜の充実も必要であり、精米費用が妥当かどうか検討していく。			

第6節 教育に関わる経済的負担の軽減、就学援助・通学対策等の充実

総合的な通学対策の推進

事業名	実施状況	実績	評価
1. 遠距離通学費補助	（スクールバス以外の）路線バスまたは徒歩等により通学している児童生徒に対して通学費（定期券等）を支給している。 通学距離規定に満たない場合でも、保護者の要望や状況等により支給対象とし補助を行った。	【対象者】 ・小学校：37名 ・中学校：53名 【支給額】 ・小学校 2,769,250円 ・中学校 4,896,870円	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 通学距離規定に満たない場合でも、保護者の要望や状況により支給対象とし補助を行った。 ● 今後、人口減少に伴う学校の統廃合が進んだ場合、定期路線バス等の公共交通機関が運行していない地区からの通学が想定される。 □ 引き続き通学方法の確保を図っていく。			

小・中学校の適正配置と就学区域の弾力化の推進

事業名	実施状況	実績	評価
2. 学区外、区域外就学の許可	・転居により就学校が変更する場合や特別支援学級への就学を希望する場合など、保護者の申請により要綱に基づき学区外就学を認めている。 ・区域外就学も保護者の申請により年度途中の転出入や通学距離を考慮し、該当市町村と協議のうえ認めている。	・学区外就学 新規申請 2 件 継続：0 件 ・区域外就学 新規申請 1 件 継続：1 件	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 児童生徒の教育環境や通学に配慮し、対応した。 ○ 制度や手続き方法について、ホームページにより周知を行った。			

その他で担当している業務分

事業名	実施状況	実績	評価
3. 要保護、準要保護児童生徒就学援助費	・経済的理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に対して必要な援助を行った。 ・学校を通じ、家庭の収入状況が減少した場合も随時申請を受付し、切れ目の無い支援を行った。 ・年度途中の認定についても切れ目無く支給費目について支援を行った。	・小学校 要保護：0 名 準要保護：37 名 支給総額 2,815,825 円 ・中学校 要保護：0 名 準要保護：35 名 支給総額 4,338,861 円	B
4. 教科書無償給与	・各小中学校へ教科書の無償給与を行った。 ・一般図書や拡大教科書等の給与は需要がないために行われなかった。	【給与総数（転学用含む）】 ・小学校 3,451 冊 ・中学校 2,156 冊	B
5. 部活動指導員の配置	・全国的に部活動の地域展開（認定クラブ活動への移行）が進んでいく中、引き続き学校教育活動の一層の充実と教員の「働き方改革」の実現を図ることを目的に実施した。	・一戸中学校 剣道部 1 名 バレーボール 2 名 陸上 1 名 ・奥中山中学校 特設スキー部 2 名	B

成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）
○ 無償給与される小中学校の教科書について、遺漏なく事務を進めることができた。 ○ 中学校2校に部活動指導員を配置し、教職員の負担軽減を図ることができた。 □ 他の運動部、文化部の指導員についても、教職員の負担軽減の観点から、人員確保を図っていく。

第7節 教職員の資質の向上

教員研修の充実

事業名	実施状況	実績	評価
1. 学級経営研修会	学級担任及び管理職を対象に、望ましい人間関係づくりを促進する学級経営の在り方について研修を深める。 - 対象：小中学校 - 期日：令和7年7月28日（月） - 会場：一戸小学校 - 内容：講義・演習（事例検討） 講義「Q－Uを用いた学級経営の具体について」	町内各校から担任参加	B
2. 校長管外視察研修	管外の先進校において、新しい教育課題の指導実践等視察を行い、学校経営の向上に資する。 【内容】 - 対象：教育委員会事務局 - 期日：令和7年11月18日（火）～19日（水） - 視察先：秋田県大仙市立豊成小学校、大仙市立中仙中学校 - 研修内容 ① I C Tを活用した個別最適な学びと協働的な学びについて ② 生成 A I を活用した校務の改善について	町内各校から校長計5名、教育委員会事務局から1名参加	B
3. 副校長管外視察研修	管外の先進校において、新しい教育課題の指導実践等視察を行い、指導力の向上に資する。 - 対象：町内小・中学校副校長 - 期日：令和7年11月26日（水） - 視察先：小中一貫三戸学園（青森県三戸町） - 研修内容 ① 小中一貫教育導入の経緯について ② 小中一貫教育の取組について	町内各校から副校長計5名参加	B

事業名	実施状況	実績	評価
4. 教務主任研修会	町内小中学校の教務主任を対象に、研究協議等を通じて教務主任の在り方や教育課程の進行管理等について研修を深め、指導力の向上に資する。 ・期日：令和8年2月25日（水） ・会場：一戸地区センター	例年どおり開催した。	B

教員研修の充実

事業名	実施状況	実績	評価
5. 小中合同研修会	小学校・中学校の連携を強化し、児童生徒の健全育成や学力向上に関する研究・研修を行い、教育水準の向上を図る。 ・実施区域：一戸中学校区・奥中山中学校区	例年通り開催した。	B

成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）

- 学級経営研修会は会津大学文化研究センター教授の荻間澤勇人氏からQ-Uを活用した事例検討等の講義を頂き、今後の学級経営の充実に資することができた。
- 校長並びに副校長管外視察研修を実施し、管外の教育事情や、生徒指導のための取り組みを学ぶことができた。その他の研修は予定どおり実施することができ、各学校の諸課題や情報交換を通じて所期の研修目的が達成できた。

生きる力を育む教育の研究と実践

事業名	実施状況	実績	評価
6. 総合的学習事業	「総合的な学習の時間」において、児童生徒に「生きる力」を培うために、町内小中学校独自の研究を推進し、望ましい支援のあり方や資料等の整備充実を図り、一戸町の教育水準の向上に資する。 ・対象校：小中学校全校	全小中学校が実施した。	B

事業名	実施状況	実績	評価
7. いちのへ御所野縄文学事業	御所野縄文文化について探究的に学ぶ教育実践の充実を図ることを通して、主体的・対話的・探究的に学ぶ力を育むとともに、地域を愛し、「ふるさと」である一戸を誇りに思う児童生徒の育成に資する。 (全小中学校対象) ・いちのへ御所野縄文学事業推進委員会の開催 ①令和7年6月24日 一戸小学校授業参観 ②令和7年7月30日 転入教職員対象 ③令和8年2月5日 実践交流会・各校による発表等 ・世界遺産学習連絡協議会への加盟 趣旨：世界遺産や地域の文化遺産、自然環境などESD（持続可能な開発のための教育）に関する優れた実践活動の交流を通して、それぞれの地域の取組を発信し合い、互いに学び合うことで生まれ育った地域に誇りを持ち、持続可能な社会の担い手としての意欲や態度を養う。	・全小中学校が実施した。 ・各校において特色ある取組を実施した。	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 総合的な学習では、各学校や地域の特色を踏まえた学校独自の課題を設定し、計画的に調査研究を進めることができた。			

学校の実態を生かした教育の充実

事業名	実施状況	実績	評価
8. 研究指定校等研究事業	町内の小中学校の研究指定校並びに研究実践校等の研究や実践の推進を図り、教育水準の向上に資する。 ◆学校公開研究会 令和7年度は一戸町において実施なし。 ◆特色ある学校づくり推進 ・一戸小学校 地域に学ぶことで、本校の教育目標に掲げる「知・徳・体のバランスのとれた人間育成」の実現を図る。 ・一戸南小学校 「自ら考え、共に高め合う子どもの育成」 ・奥中山小学校 「主体的・対話的で深い学びをする子どもの育成」－友達の考えを聞いて、自分の考えを表現する学習活動を通して－	全小中学校が実施した。	B

事業名	実施状況	実績	評価
	・一戸中学校 「学び合いの中で自分の考えを表現できる生徒の育成」～ICTの活用を通して～ ・奥中山中学校 「伝え合う力を高める指導法の工夫」の研究		
成果と課題（○:成果、●:課題、□:対策）			
○ 特色ある学校づくりの推進に係る研究事業については、各学校の特色を活かした教育活動を実施できた。			

第8節 いじめ、不登校等への対応の充実

不登校・非行・いじめなどの問題の未然防止、解消

事業名	実施状況	実績	評価
1. 一戸町いじめ問題対策連絡協議会	一戸町いじめ防止基本方針のもと、一戸町内の小学校・中学校、関係諸機関等との連携を図り、いじめ問題の未然防止や早期発見・早期対応をめざした取組の充実に資する。 ・会議：令和7年4月30日（水） ・対象：二戸警察署生活安全課長・一戸交番所長・岩手県福祉総合相談センター児童福祉司・盛岡地方法務局二戸支局長・一戸町健康子ども課長・一戸町主任児童委員・県北教育事務所指導主事・在学青少年指導員・北桜高等学校長・一戸町校長会代表2名 ・会場：一戸地区センター	1回開催	B
2. 学校警察連絡協議会	児童生徒の健全育成のため、一戸町内の小・中学校高等学校が生徒指導について、相互に綿密な連携を図るとともに、関係諸機関等と連携を密にし、生徒指導の充実に資する。 ・会議：①令和7年7月1日（火） ②令和7年12月1日（月） ・対象：二戸警察署生活安全課長・一戸交番所長・小鳥谷駐在所長・中山駐在所長・各少年補導員・各小中学校長・北桜高等学校長・各校生徒指導主事又は担当者 ・会場：①一戸町役場、②一戸地区センター ・内容：二戸警察署生活安全課長による講話と情報交換 ※合わせて生徒指導連絡協議会を開催	2回開催	B

事業名	実施状況	実績	評価
3. 学級生活満足度調査（Q-U）	児童生徒の学級生活に対する満足感について実態を調査し、集団の中であたたかな人間関係づくりに役立てる。 ・調査学年：全校小学校4学年以上 ・調査回数：年2回（5月・11月）	各校2回実施	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 一戸町の学校におけるいじめや児童生徒の問題行動の実態を関係機関と共有・情報交換により今後の生徒指導に資することができた。 ○ Q-Uの調査により学級経営の指標とすることができた。また、夏季・冬季休業中にQ-Uを分析する教職員による研修会を開催して活用を図った。 ● いじめ問題対策連絡協議会、学校警察連絡協議会については、参加者の負担について考慮して実施回数の削減について検討する。 ● 不登校の生徒は、増えてはいないが横ばいであり、学びの補償が課題。 □ 本人との細やかな面談などを重ね、学びに向かわせる。			

その他

学校の管理運営

事業名	実施状況	実績	評価
4. 町立学校職員の任免・分限処分及び懲戒処分並びに服務等	・県教委の指導により、適切に処理している。 ・綱紀保持については、これまで機をみて指導を行ってきたところであるが、軽微ながら交通事故（単独自損）並びに違反（速度超過）が発生したことから、あらためて啓蒙に努める。	処分の対象者なし	B
5. 町立学校職員の給与・勤務時間・勤務条件等	・県教委の指導により、適切に処理する。	適切に処理した。	B
6. 奨学及び育英	◆町育英会事業 ・償還対象者へ納付書の送付を行った。滞納分については、郵便、電話連絡等による督促等の取り組みを行っている。 ◆田村清蔵奨学基金 ・令和7年度の新規採用者はなし。 ・信託利益が上がらず、基金を取崩し給付している状況である。	【新規採用者】 ・高等学校 1名 ・各種学校 0名 ・大学 3名 【新規対象者】 ・大学 0名	B

学校の管理運営

事業名	実施状況	実績	評価
7. 学校事務の効率化	・学校事務を共同で行う事により、適正且つ効率的な学校事務の管理体制の確立が図られてきた。 ・学校事務の共同実施組織と教委事務局との意見交換の場を設け、事務処理の改善に努めた。	適正に進めることができた。	B
成果と課題（○:成果、●:課題、□:対策）			
● 町育英会事業の償還金滞納分の返還。 □ 連帯保証人を含めた納付勧奨を行っていく。 ● 田村清蔵奨学基金は、基金残額の減少により、今後数年で事業終了見込みである。 ※ R8以降、基金の残高は4年制大学進学者3名分			

健康意識の高揚に関わる組織強化と機能化

事業名	実施状況	実績	評価
8. 一戸町学校保健会報の発行	町内小中学校教職員及び保護者、保育施設等の職員及び保護者、医療関係者等へ年2回発行した。	年2回の発行を行った。	B
成果と課題（○:成果、●:課題、□:対策）			
○ 生涯を通じて心身ともに健康でたくましく生きる幼児・児童・生徒の育成をめざした研修や健康教育の普及及び啓発が図られた。			

第3章 青少年の健全育成

第1節 指導者の発掘・養成

A：計画以上の成果をあげた
B：達成できた
C：おおむね達成できた
D：達成できなかった

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 子ども会・育成会研修会	期日 9月20日 御所野縄文博物館 ※参加者が少なかったため中止 内容 体験活動	—	D
2. 岩手県ジュニアリーダー研修会	期日 ①研修会 4月6日 アイーナ ②研修会 5月24～25日 国立青少年交流の家 ③研修会 6月28～29日 国立青少年交流の家 ④保育体験活動 8月6～9日 国立青少年交流の家 内容 交流活動、保育体験、ワークショップ等	①高校生 4名 担当者 1名 ②高校生 2名 ③高校生 4名 担当者 1名 ④高校生 2名	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ ジュニアリーダー研修会では、地域を超えた交流ができていた。 ● 子ども会・育成会研修会は参加者が集まらなかったため、開催することができなかった。 □ 事業の見直しを検討することとしたい。 ● ジュニアリーダー研修会に参加したものの、他事業での協力が得られなかった。 □ 研修会で得た知識を還元できるような事業運営をしていきたい。			

第2節 子ども行事の活性化

事業名	実施状況	参加人数	評価
1. 放課後子ども教室事業 (学校・家庭・地域連携協力推進事業：国庫補助)	期日 4月～3月 場所 ①旧一戸幼稚園（週5日） ②旧鳥越小学校（週5日、長期休み） ③鳥海地区センター（週5日、長期休み） ④小鳥谷地区センター（週2日程度） ⑤奥中山小学校（週5日） 内容 平日放課後の居場所として子ども教室を開催	登録者数 ① 17名 ② 5名 ③ 9名 ④ 8名 ⑤ 35名	B
2. 青少年育成事業	①缶けり逃走中ごっこ 期日 11月3日 一戸町総合運動公園 ※熊被害防止のため中止 ②ドッジボール・ニュースポーツ交流会 期日 11月24日 一戸町体育館	①中止 ②小学生 24名 中学生 1名 保護者 6名	C
3. 新年かきぞめ大会	期日 1月9日 コミュニティセンター	小学生 26名 一般 12名	B
4. 管内子どもの読書活動推進連絡会議（県）	期日 5月22日 久慈市立図書館 内容 子どもの読書活動を推進するための体制や事業について、共通理解と情報交換を行う。	担当者 1名 図書館職員 1名	B
5. 管内中・高等学校図書館担当者研修会	期日 7月4日 久慈地区合同庁舎 内容 中高生の更なる読書活動推進のために、学校と関係機関との連携体制の構築及び担当者の資質の向上を図る。	職員 1名 図書館職員 1名	B
6. 管内読書ボランティア等研修会（県）	期日 9月12日 久慈地区合同庁舎 内容 子どもの読書活動を推進するため、関係機関やボランティア団体との情報交換、研修を行う。	図書館職員 1名	B

成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）
○ 放課後子ども教室では、本年度も地域住民の協力をいただきながら、放課後の安全な居場所を確保することができた。 ○ 読書に関する会議や研修会では、当課職員と図書館職員で出席し、他市町村との交流を図ることができた。 ● 鳥獣被害対策によりやむなく中止した事業もあった。 □ 事業の内容や周知方法の見直しを進める。

第3節 健全な社会環境づくりの推進

家庭教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 家庭教育学級 (小・中学校)	期日 年間 町内小中学校 対象 児童生徒、親等 内容 ①一戸小学校 (5講座) ②一戸南小学校 (10講座) ③奥中山小学校 (2講座) ④一戸中学校 (5講座) ⑤奥中山中学校 (1講座)	①一戸小学校 376名 ②一戸南小学校 863名 ③奥中山小学校 105名 ④一戸中学校 778名 ⑤奥中山中学校 25名	B
2. 家庭教育学級 (幼児)	未実施		D
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 各学校において講座数が増加傾向にあり、参加者も年々増加していることから、継続して事業を推進する。 □ 幼児を対象とした家庭教育学級は、福祉部局と共催で事業を行うなど協議を進める。			

教育振興運動の推進

事業名	実施内容	参加人数	評価
3. 教育振興事務局 局長会議	期日 6月10日 一戸地区センター 内容 令和7年度教育振興推進計画と実践内容、家庭教育学級について	事務局等 6名	B
4. 教育振興運動 推進委員会総会	期日 6月下旬 一戸地区センター 内容 令和6年度報告及び令和7年度計画案等研修会 同時開催（講師：県北教育事務所） ※未実施	—	D
5. 地域とともに ある学校づくり 推進フォーラム (県)	期日 7月11日 かるまい文化交流センター 内容 地域と学校の連携・協働やコミュニティ・スクールについて	職員 1名	B
6. 教育振興実践 記録集の発行	各学校（実践区、地区協議会）で取り組む活動を1冊にまとめた記録集を発行。家庭教育学級の取り組みも収録。（年1回、6月発行） ※事業見直しによりR7は未発行。隔年で発行予定	—	D

7. 地域学校協働本部事業 (学校・家庭・地域連携協力推進事業：国庫補助)	期間 4月～3月 目的 地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の構築を図るとともに、多様な形態の教員支援を行い、子どもと向き合う時間の拡充を図る。 内容 地域住民による学習支援、図書ボランティア、スクールガード、その他各種学校支援	導入校： 一戸小 一戸南小 奥中山小 一戸中 奥中山中	B
成果と課題 (○:成果、●:課題、□:対策)			
○ 各校に地域コーディネーターを配置したことで、地域と学校の協働推進が図られた。 ○ 各地域の文化や歴史等特色を生かした活動が展開されている。			

その他

推進体制の充実

事業名	実施内容	参加人数	評価
8. 生涯学習推進本部 ①推進本部会議 ②推進本部幹事会議	生涯学習に関する各課等相互の連絡調整。	随時	B
9. 生涯学習推進協議会	生涯学習に関する必要な事項を協議し、町民の自主的、主体的な生涯学習を推進	随時	B
10. 二戸地区社会教育担当者会議	期日 ①5月28日 久慈地区合同庁舎 ②8月22日 二戸地区合同庁舎 ③11月28日 県北青少年の家 ④2月20日 二戸地区合同庁舎	① 2名 ② 1名 ③ 1名 ④ 1名	B
11. 管内生涯学習・文化行政主管課長会議	期日 4月25日 二戸地区合同庁舎	2名	B
12. 二戸地区社会教育部会別会議(共)	期日 ①5月13日 二戸地区合同庁舎 ②2月4日 二戸地区合同庁舎 内容 図書館、文化財、公民館の3部会ごとに分かれて開催。	① 6名 ② 6名	B
13. 社会教育委員会	① 期日 5月30日 一戸地区センター 内容 令和6年度社会教育関係事業実施状況 令和7年度 〃 計画等 ② 期日 12月11日 一戸地区センター 内容 令和7年度社会教育関係事業実施状況 令和8年度の重点施策	①委員 9名 ②委員 10名	B
14. 二戸地区社会教育連絡協議会総会・学習会	期日 6月27日 二戸地区合同庁舎	委員 3名	B
15. 二戸地区社会教育委員等研修会	第67回全国社会教育研究大会岩手大会への参加 期日 10月30日 盛岡市アイーナ 内容 記念講演、文科会、アトラクション	委員 3名 職員 1名	B
16. 生涯学習指導員の設置	指導員による助言や町広報紙、ホームページを活用し、生涯学習の普及、啓蒙と情報を発信。	1名	B
17. 広報活動		通年(町広報紙、ホームページ)	B

成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）
○ 関係機関との連絡調整及び情報交換を図ることができた。
□ 町の公式LINE等を活用し、町民への情報発信に努める。

生涯学習の普及推奨

事業名	実施内容	参加人数	評価
18. 生涯学習カレンダーの作成	期日 年1回（4月） 内容 町内生涯学習関係行事等	配布 町内全戸配布	B
19. 学習相談事業の実施	学習内容への助言、講師等の紹介	年間 随時	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 生涯学習活動のきっかけづくりとなった。			
○ 年間行事を周知することにより、各団体等の事業計画の参考となった。			

地区センター事業

【一戸地区センター】

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

成人教育

A：計画以上の成果をあげた
B：達成できた
C：おおむね達成できた
D：達成できなかった

事業名	実施状況	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー	【一戸コース】 期日及び内容 ① 7月10日 「腕時計の魅力」 道又時計店 店長 石井 学 氏 ② 8月21日 「基礎から学ぶ！健康マージャン講座」 明治安田職員 日本健康麻将協会 ③ 9月11日 現地研修「久慈琥珀博物館・周辺施設巡り」 行き先 久慈琥珀博物館 ④ 10月7日 「薬の正しい服用方法」 アイン薬局一戸店 職員 ⑤ 12月8日 「一戸町の源義経伝説」 盛岡大学教授 佐藤 優 氏	受講生 ① 29名 ② 21名 ③ 28名 ④ 28名 ⑤ 26名	B
2. 各種教室の開催	ちょこっと運動教室 期日 1月13日～3月10日 毎週火曜日 全8回 内容 軽めの運動をして身体をほぐす機会を作るための教室	延べ 57名	C
3. 一戸町二十歳のつどい	期日 8月15日 内容 式典と記念行事	74名 ※対象計 133名	A
4. テニス教室	中止	—	—
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 町民セミナーでは、趣味や健康をテーマにしたものや久慈琥珀館の見学といった、地域住民のニーズ合った内容を企画することができた。また、現地研修は申込みが多くキャンセル待ちにならないよう、ハイエース（10人乗り）を追加で手配した。 ● テニス教室は、テニス協会から講師やスタッフが集められないため今年度は実施できないとのことで中止とした。			

高齢者教育

事業名	実施状況	参加人数	評価
5. 高齢者教室	期日 10月～11月 全22回 内容 スマホ教室 2会場	延べ 63名	A

成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 高齢者を対象にスマホ教室を実施できた。 ● 応用編というテーマで実施したが、実際参加した方々からは実用的な質問も多かったため、今後は実用的な内容についても実施していきたい。			

その他

事業名	実施状況	参加人数	評価
6. 旧正月を祝う会	期日 2月1日 一戸地区センター 内容 中国文化圏の方々にとって、旧正月を盛大に祝う習慣のあることから、町内在住の外国人の方々と一緒にお祝いをし、交流を図る。 ※国際交流協会主催、一戸地区センター共催	71名	B
7. 一戸地区新年交賀会	期日 1月7日 一戸地区センター 内容 地区民参加のもと親睦交流を図る。	47名	A
8. 一戸町文化祭	期日 10月31日～11月2日 内容 各種作品展示、舞台発表	展示部門 1,031点 舞台部門 13団体 19演目	B
9. 施設内への作品展示	期日 通年 内容 各種作品展示	—	A
10. 広報活動	期日 随時 内容 町広報紙・ホームページを活用した事業の周知。地区センターだよりの発行。	—	B

成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 文化祭は、展示場所や舞台の発表時間の見直しを行うとともに、昨年に引き続き町内事業者による飲食販売を誘致し、来場者の満足度向上を図った。			

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施状況	参加人数	評価
1. そよかぜ学級	期日 年間 内容 約10人以上の参加が見込める団体の活動に対して、講師への謝礼金を援助する。	延べ18件	B

成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
● 実施件数が伸び悩んでいることから、今後は自治公民館長・町内会長等連絡会議や、町ホームページ、広報等で事業の周知を行い、利用者の増加を図る。また、役場の他課にも講師としての協力をお願いし、町民に町政への関心持ってもらよう事業を行いたい。			

第3章 青少年の健全育成

第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事業名	実施状況	参加人数	評価
1. 青少年地域活動	第3回親子でみちのく潮風トレイル 期日 10月12日 内容 潮風トレイルのコースを親子で一緒に歩く	13名 ※親子等3組	C
2. 子ども映画会	期日 4月～11月 計7回 内容 いちのへじょうもんの里こども園の園児を対象に、映画会を開催。	延べ217名	B
3. 青少年ボランティア活動	期日 4月～1月 計3回 内容 町内中・高生を対象に行事にボランティアとして参加してもらう。 ・9/20 御所野の自然と縄文文化にふれてみよう ※参加者が少なかったため中止 ・11/3 缶けり逃走中ごっこ ※クマ被害防止のため中止 ・11/24 ドッジボール・ニューススポーツ交流会 ・2/23 むいぐるみのマフラーをつくろう	中高生 9/20 中止 11/3 中止 11/24 0名 2/23 0名	D
成果と課題（○:成果、●:課題、□:対策）			
○ 青少年地域活動では、親子を対象とした他地域での自然体験活動を実施することで、その土地ならではの風景や自然を五感で感じるとともに、参加した親子間や参加者間での交流を図ることができた。 ● 青少年ボランティア活動では、参加申込みがあったもののイベントの開催が困難であったり、参加者の体調不良により欠席となったことで、参加人数が減少することとなってしまった。 □ ニーズを踏まえたボランティア活動を周知する（日本語教室、学び場教室）。			

その他

推進体制の充実

事業名	実施状況	参加人数	評価
4. 自治公民館長・町内会長等連絡会議	期日 5月16日 内容 町政概要、各種支援制度、地域防災、民生児童委員改選、鳥獣被害対策について説明。	43名 ※うち自治公民館長23名	B
5. 地区センター定期利用社会教育関係団体代表者会議	期日 3月6日 一戸地区センター 内容 各団体の育成推進、活動方針や事業計画を協議	—	B
成果と課題（○:成果、●:課題、□:対策）			
□ 自治公民館長会議について、一方的な説明だけでなくグループワークなど館長同士で情報共有できるような内容の変更を進める。			

【鳥海地区センター】

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

成人教育

A：計画以上の成果をあげた
B：達成できた
C：おおむね達成できた
D：達成できなかった

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー 鳥海コース	期日 7月～11月 計3回(現地研修1回) 内容 ①7月2日(水) ・「意外と知らない天文台の秘密」現地研修 ・講師：一戸町観光天文台台長 吉田偉峰 氏 ②11月5日(水) ・「エコクラフトで小物作り」 ・講師：清川セイ子 氏、工藤 ユキ 氏 ③12月3日(水) ・「ブッシュ・ド・ノエル作り」 ・講師：アトリエ エム 代表 道合 卓哉 氏 道合 由梨 氏	① 22名 ② 22名 ③ 23名 受講申込：40名 参加延数：44名	B
2. 創作活動	①陶芸教室 10月20日(月)、11月10日(月) ②パッチワーク教室 (毎月1～2回) ③ミニ門松作り教室 12月18日(木)	①延べ 36名 ② 18回 延べ 192名 ③ 14名	B
3. 作品発表展示会	期日 一戸町文化祭(10/31～11/2) 内容 各教室で制作した作品の展示。	10名 23作品	B
成果と課題 (○：成果、●：課題、□：対策)			
○ 各教室等では、作品の制作過程、完成を楽しむだけでなく、様々な世代の交流も見られた。 □ 各学級や各種教室、各種団体、グループ等の活動では、自主的な活動の奨励と支援を図り、地区民の要望等も考慮して、事業の実施や開催時期、内容の検討を行っていく。			

高齢者教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
4. 各種スポーツ大会	期日 ①親善ゲートボール大会 ②グラウンド・ゴルフ大会 9月26日(金) ③ボッチャ大会 11月19日(水) 内容 会員の健康づくりと交流・親睦を図る。	① 中止 ② 33名 ③ 37名	B
5. 親睦旅行	期日 10月15日(水) 内容 「平庭山荘」で会員の交流・親睦を図る。	29名	B
6. 短歌・俳句	期日 3月 文集第 集発刊 内容 地区民と愛好会員に作品を募集し、1冊の文集として纏める。※応募作品なし	休刊	—
7. 地域奉仕活動	期日 10月 日 () (草取り) 内容 鳥海小学校の全校児童と高齢者が一緒になって、学校の中庭の草取りを実施。活動後に、児童と昔遊びなどの交流会を開催。	鳥海小学校統合 開催なし	—

事業名	実施内容	参加人数	評価
8. 楽しく学ぼう西川目長寿大学校	期日 11月～2月（計4回） 場所：奥中山高原温泉 来田保養センター 宮田温泉集会所 翔遊館 内容 ①11月12日（水） ・「日本舞踊の楽しみ方」 ・講師：日本舞踊若柳流師範 若柳 若純 氏 ②12月10日（水） ・「友蔵人生の集大成～おらの想いを受け止めて～2025」 ・講師：カシオペア権利擁護支援センター ③1月21日（水） ・「初笑い落語を楽しもう」 ・講師：手玖手玖亭 鮎六 氏 ④2月18日（水） ・「鳥海の郷土芸能」 ・講師：世界遺産課課長補佐 中村 明央 氏	① 25名 ② 21名 ③ 33名 ④ 20名	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 西川目長寿大学校の参加者は年々増加し、高齢者の学習意欲が高まっている。 □ 地域奉仕作業について、新たな事業の検討を進める。			

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 移動公民館及びそよかぜ学級	期日 年間 内容 約10人以上の参加が見込める団体の活動に対し、講師謝礼の援助。	30回 延べ362名	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 事業回数、参加人数ともに増加傾向にあることから、継続を目指す。			

第3章 青少年の健全育成

第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 習字教室	期日 毎週月曜日 鳥海地区センター 内容 子ども達の情操を育て、技術の向上を図る。	鳥海小学校統合 開催なし	—
2. 環境美化運動	期日 ①4月28日（日） ・早朝クリーン作戦 ②年間 ・花だんづくり 内容 地域の環境美化運動に参加し、子ども会での花壇づくりの推進	① 150名 ② 小友地区	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
3. 青少年地域活動 (チャレンジ土曜日)	内容 ① 7月28日(月) 「モルック大会」 ② 月 日() 「サッカー教室」	① 6名 ② 開催なし	B
4. 大志を抱く会	期日 令和8年2月14日(土) 内容 一戸中学校の鳥海地区出身の1・2年生を対象に、将来の夢や希望を宣誓していただく立志式を開催する。また、茶話会を通じて地域とのつながりを図る。 (今年度対象生徒: 2年生1名、1年生6名)	33名	B
成果と課題 (○:成果、●:課題、□:対策)			
○ 大志を抱く会と居場所づくりWGのイベントを同日に開催することにより、参加者の増につながった。			
□ 小学校統合後の子供たちの情操教育について検討を進める。			

その他

推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
5. 地区センター運営協力者会議	期日 ① 6月18日(水) 内容 地区センター運営全般について、活動の計画、反省等について意見交換。	12名	B
6. 三者合同健全育成会議	期日 月 日() 内容 各地区子ども会育成会長、小・中学校長、地区センターの三者が会し、連携と理解を深める。	鳥海小学校統合 開催なし	—
7. 各種団体長会議	期日 11月28日(金) 開催 内容 そよかぜ学級実施団体への事業説明	書面開催	B
8. 地区センターだよりの発行	期日 年間 一戸町の広報発刊日にあわせて月1回発刊 内容 地区センターの活動計画や実施内容等のお知らせや地域や学校の行事などを地域住民全戸に配布。	340世帯に 通算発行数 432号	B
9. ちらし等の情報提供	期日 通年 内容 地区センター事業や各種団体での募集やチラシづくりの協力など地区センターだより以外に必要なに応じて作成し地域の方々へ情報提供する。		B
10. 鳥海地区スポーツ振興会及び各種スポーツ大会への支援(協賛)	期日 年間 内容 ①地区ペタンク・リーグ戦 7月17日(木)、31日(木)、8月7日(木) 21日(木) ② 鳥海地区総合スポーツ大会 ・ビーチボールバレー ・ソフトボール ③ 鳥海地区町民体育大会 9月21日(日)	①延べ159名 ②開催なし ③ 200名	B
11. 鳥海地区振興会及び各種団体への支援・協力	期日 年間 内容 ①地区振興会活動への支援と協力 ・早朝クリーン作戦、桜の植樹場所等の刈り払い 標語コンクール、新年交賀会、大志を抱く会 ②各種諸団体活動の活性化と支援。		B

事業名	実施内容	参加人数	評価
12. 鳥海ボランティア高森会への支援・協力	期日 年間 内容 高森高原まつりへの協力、鳥海地区振興会と協力しての刈り払い、研修旅行、介護予防教室の送迎等		B
13. 高森高原まつり実行委員会への支援・協力	期日 6月2日（日） 内容 高森高原まつり実行委員会への支援・協力	500名	B
14. 介護予防拠点施設「翔遊館」への支援・協力	期日 年間 内容 翔遊館の利用促進と介護予防拠点施設運営協議会への協力、介護予防教室開催時の送迎等。		B
15. 鳥海地区新年交賀会	期日 令和8年1月3日（土）13時から 内容 地域住民が一堂に会し、新年を祝い相互の親睦を図る。	36名	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 少子・高齢化が顕著に進んではいるが、体育・文化、地域の活動に対して積極的に、地区センターが可能な限りの支援・協力の体制をとっている。旧鳥海小校舎活用検討・実践ワーキンググループ「未来クロス☆鳥海」との連携事業を推進していきたい。			

【小鳥谷地区センター】

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

A：計画以上の成果をあげた
B：達成できた
C：おおむね達成できた
D：達成できなかった

成人教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー	○期日・内容 小鳥谷コース（小鳥谷地区センター） ①7月17日（木） 演題：「特殊詐欺の被害にあわないために」 講師：小鳥谷駐在所 巡査部長 三本木 裕美 氏 ②9月25日（木） 演題：「初めて学ぶ 終活と相続のキホン」 講師：石輪FP事務所 代表 石輪成人 氏 ③10月23日（木） 演題：「小鳥谷は山伏神楽の中心地」 講師：世界遺産課 課長補佐 中村 明央 氏 ④11月27日（木） 実習：「『パティシエに学ぶお菓子教室」 講師：アトリエ エム 道合卓哉 氏	受講生 57 名 ①30 名 ②33 名 ③33 名 ④15 名 コース延べ参加人数 111 名	B
2. 書道教室 （3章2節. 書道教室と同時開催）	○期日 毎週金曜日 ○場所 小鳥谷地区センター ○内容 毛筆の課題を練習し毎月作品を提出	登録者 4 名 延べ受講者数 97 名	B
3. ヨガ教室	○期日 1月～3月 計8回 ○場所 小鳥谷地区センター ○内容 ヨガ教室	8 回 延べ 57 名	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 町民セミナー参加者（各コース申込者）は、小鳥谷コースに限らず参加しており、積極的な学びを行っている。 ● 定員に対して予想以上の申込があり、受講者に不便をかけることとなった。 □ 人気コースについては、複数回開催を検討する。定員を設ける場合には地区センター近隣住民を優先するなど対策を設ける。			

高齢者教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
4. 小鳥谷はつらっ! あっぶ教室（共催）	○期日 4月～3月（毎月第4木曜日、12～3月は毎週木曜日） ○内容 介護予防を目的とした教室 （主催：一戸町地域包括支援センター）	24 回 延べ 147 名	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 参加者の高齢化に伴い、健康な生活を自ら維持し高めようとする意欲が見られた。 ● 参加者の年齢により、運動内容が体力的に難しい方もおり、欠席につながった声もあった。 □ 内容について検討する。			

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. そよかぜ学級	①がんばるお母さんの会 期日 4月～3月まで計10回 場所 小鳥谷地区センター 内容 こぎん刺し教室, 陶芸教室, 糸かけ教室, 軽体操, 健康麻雀など	①延べ 176 名	B
	②小鳥谷婦人会 期日 10月～2月まで計17回 場所 小鳥谷地区センター 内容 踊りの教室	②延べ 82 名	
	③高屋敷町内会 期日 12/30, 2/9 場所 高屋敷集会場 内容 手打ちそば・うどん教室	③ 20 名	
2. 自主講座	○期日・内容 ①華道教室 毎月第2・4月曜日 ②大正琴教室（琴修会） 毎月第2・4月曜日 ③小鳥谷さわやかクラブ（健康づくり） 毎月第2・4水曜日 ④駒木婦人の会（健康づくり） 毎週土曜日	①延べ 30 名 ②延べ 4 名 ③延べ 114 名 ④延べ 193 名	B
成果と課題（○:成果、●:課題、□:対策）			
○ 小鳥谷地区民が自主的に企画し参加者相互の交流が図られており、小鳥谷地区文化祭への展示にもつながった。 □ 前年度より事業を活用する団体が減少したことから、広報活動等により活用団体の増に努めたい。			

第3章 青少年の健全育成

第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 幼児映画教室	○期日 5～2月（月1回） ○場所 小鳥谷ふじの花こども園 ○内容 こども園の園児に映画鑑賞の機会を提供	延べ児童数 126 名	B
2. 書道教室 （1章1節. 書道教室と同時開催）	○期日 毎週金曜日 ○場所 小鳥谷地区センター ○内容 毛筆を中心に課題を練習し毎月作品を提出	登録者 13 名 延べ受講者数 438 名	B

3. 青少年地域活動事業	①期日	5月26日(月)	①児童 18名 ②児童 15名 ③児童 17名	B
	場所	青森県弘前市・平川市「弘前城・猿賀神社公園」		
	内容	施設見学及び歴史学習		
	②期日	7月25日(金)		
	場所	宮古市「たろう観光ホテル・浄土ヶ浜」		
	内容	ガイドによる震災復興について		
	③期日	11月3日(月)		
	場所	青森県三沢市・十和田市「三沢航空科学館・十和田現代美術館」		
	内容	施設見学、芸術に触れる		
成果と課題 (○：成果、●：課題)				
○ 小鳥谷地域の児童の育成が図れた。				
○ 青少年地域活動事業は小学校や学童クラブ、子ども教室と連携を図りながら実施することができた。小学校統合後も継続して実施していく。				
● 地区センター職員数を考えると、現地研修の事業を継続するのは難しい。				
□ 事業数あるいは、内容を減らすなど、実施可能な事業の検討を進める。				

その他

事業名	実施内容	参加人数	評価
4. 小鳥谷地区センター運営協力者会議	○期日 6月5日 ○場所 小鳥谷地区センター ○内容 センター事業及び管理・運営全般について	5名	B
5. 地域団体、定期利用団との打ち合わせ	○期日 随時 ○内容 地域の各種団体、定期利用団体と打ち合わせ、事業の円滑化を図る。		B
6. 地区センター事業のお知らせ	○期日 4回/年 ○内容 地区センターだより「五月舘」を発行し事業のお知らせや実施内容の周知を図る。		B
7. 小鳥谷地域振興会事業への協力	①総会 期日 5月11日(日) 場所 小鳥谷地区センター ②クリーンアップ作戦 期日 4月13日(日) 場所 小鳥谷地区内 ③藤島のフジまつり 期日 5月18日(日) 場所 旧小鳥谷小学校 ④小鳥谷まつり 期日 9月14～15日(土日) 場所 小鳥谷地区内 ⑤藤島のフジ等選定・園内清掃など 期日 5月11日・6月1日・7月6日・11月2日 場所 藤島のフジほか小鳥谷地区内	①20名 ②100名 ③200名 ⑤延べ125名	B

8. 小鳥谷地区スポーツ振興会事業への協力	①役員会 期日 5月9日(金) 場所 小鳥谷地区センター ②総会 期日 5月27日(火) 場所 小鳥谷地区センター ③ニューススポーツ体験会 期日 8月5日(火) 場所 小鳥谷地区センター運動場 ④ソフトバレーボール大会 期日 2月22日(日) 場所 小鳥谷地区センター	①6名 ②8名 ③20名 ④35名	B
9. 各種団体への協力	○期日 随時 ○内容 子ども教室・用水組合等への協力。		B
10. 小鳥谷地区文化祭	○期日 11月15～16日(小鳥谷地区センター) ○内容 展示部門(400点) 団体参加(書道教室、華道教室、小・中学校、子ども園、学童クラブ、子ども教室、盆栽愛好会、押し花) 一般参加(ちぎり絵、木工品、手芸等) 舞台部門(8団体1個人・74人) 販売部門(若葉会・サラダボウルこずや・アトリエM) ・地域団体等による焼き鳥、焼きそば、野菜、串もち、スイーツ等の直売	252名	B
11. 小鳥谷地区新年交賀会	○期日 1月4日(日) ○場所 小鳥谷地区センター ○内容 新年の集い	52名	B
12. お休み処ニコニコ駅こずや(元気なまちづくり事業)	期日 4月～3月(毎週土曜日) 場所 IGR小鳥谷駅舎内 内容 お休み処の運営	253名	A
13. 第5回小鳥の谷の雪あかり(元気なまちづくり事業)	期日 1月17日～18日 場所 小鳥谷地域 内容 雪あかり メイン会場: IGR小鳥谷駅前・小鳥谷診療所前	協力者20名 及び地域住民	B
成果と課題 (○:成果、●:課題、□:対策)			
○ 「わたしたちの元気なまちづくり事業」の活用により、各団体の育成が図られている。 □ 地区センター運営協議会は5名の出席であるため、協力者が集まれる時間での開催を検討する。			

【奥中山地区センター】

第1章 生涯学習社会の構築

第1節 多彩で特色ある学習プログラムの整備

成人教育

A：計画以上の成果をあげた
B：達成できた
C：おおむね達成できた
D：達成できなかった

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. いちのへ町民セミナー 奥中山コース	期日 7月～10月 計5回 内容 ①7月1日 (奥中山地区センター) ・「健康づくり栄養講座」 ・講師：明治安田生命 ②7月26日 (奥中山地区センター) ・「縄文の魅力」 ・講師：縄文インフルエンサー アベマホコ氏 ③8月30日 (現地研修) ・「八戸市国宝巡り」 ・講師：各施設職員 ④9月19日 (奥中山地区センター) ・「お茶セミナー」 ・講師：株式会社伊藤園 ⑤10月4日 (奥中山地区センター) ・「元気盛りモリ！楽しい人生を」 ・講師：ウェルネスクラブレインボー体操で寝たきり0を目指す会 理事長 工藤昭敏氏	34人 30人 32人 23人 23人 受講申込者：48人 受講延人数：142人	A
2. 大人の遠足ツアー	期日 6月7日 (九戸村) 内容 小井田立体農業研究所見学 共催：奥中山読書会「北の風」	20人	A
成果と課題 (○：成果、●：課題、□：対策)			
○ 町民セミナーは、受講者に興味を持ってもらえるテーマの選定に努めている。全5回を予定どおり開催することができた。 ○ 開催時期や内容、周知方法等を工夫して実施した。			

高齢者教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
3. 奥中山地区ゲートボールリーグ戦	期日 5月～ (開拓記念公苑) 内容 全8回のリーグ戦を行い、参加者の技術向上と親睦・交流を図った。	5チーム	A
4. ピュアクアガーデン杯ゲートボール大会	期日 1月28日 (奥中山地区センター) 内容 奥中山、近隣町のチームによる親善大会を開催し、競技を通じて相互の技術向上と親睦・交流を図った。	5チーム	A
5. 西館工務店杯ゲートボール交流大会	期日 2月18日 (奥中山地区センター) 内容 奥中山地区内のチームによる交流大会を開催し、競技を通じて相互の技術向上と親睦・交流を図った。	5チーム	A

6. 奥中山郵便局長杯ゲートボール大会	期日 2月9日 (奥中山地区センター) 内容 郵便局と共催して開催。競技を通して参加者相互の親睦、交流を図った。	6チーム	A
7. オパール大学校	期日 11月～3月 内容 JA年金友の会と共催し、講話や軽体操など各回テーマを決めて開催。	【中止】	—
8. お達者サークル	期日 毎週水曜日 9時～13時 (お達者かぁ～ん) 内容 高齢者及び施設利用者を対象に、軽運動、ニュースポーツなどを実施した。	50回 延べ890人	A
9. はつらつ！あっぷ教室	期日 4月～11月 毎月第4水曜日 12月～3月 毎週水曜日 13時30分～15時 (奥中山地区センター) 内容 健康運動、ストレッチ、脳トレ運動、健康教室など町地域包括支援センターが主催し地区センターなどが後援して実施した。	23回 延べ201人	A
成果と課題 (○：成果、●：課題、□：対策)			
○ ゲートボール大会は、地区内の企業等の協力も受けながら、多くの大会を開催できている。大会毎に参加チームを変えるなどし、奥中山地区以外のチームとの交流も図っている。 ● オパール大学校は、共催団体の事情により本年度も休止することとなった。 ○ お達者サークルは、自宅にこもりがちになりやすい高齢者の外出のきっかけや体力維持、生きがいづくりの一助になっている。 ● はつらつ！あっぷ教室は、夏場の参加者が少ないことが課題である。 □ 時期、場所を検討する。			

その他

事業名	実施内容	参加人数	評価
10. ロビー展示会	①期日 4月～3月のうち随時 内容 ちぎり絵教室の作品展示 ②期日 6月18日～6月28日 ほかに全6回予定 内容 中山の園つつじ 作品展 ③期日 12月3日～12月18日 内容 三愛学舎 手芸展 ④期日 1月21日～2月2日 内容 三愛学舎 卒業展	集計なし	B
11. 健康づくりの日	期日 5月～9月の毎週木曜日 (奥中山小学校校庭) 内容 毎週早朝にラジオ体操行うことで、地域住民の健康づくりの一助となった。	19回 延べ171人	A
12. 奥中山地区文化祭	期日 10月12～13日 (奥中山地区センター) 内容 地区民の芸術文化活動の成果を発表、展示し、広く地区民に鑑賞の機会を提供した。	集計なし	A
13. 新年交賀会	期日 1月4日 (奥中山地区センター) 内容 地域住民が一堂に会し、新年を祝いながら親睦と交流を深めた。	64人	A
14. 夢あかり	期日 1月10～12日 (奥中山高原駅周辺ほか) 内容 駅前通りを会場に、雪と灯りをテーマにイベントを開催。住民総参加で一つの目標に取り組み、地域の活性化を図った。	集計なし	A
成果と課題 (○：成果、●：課題、□：対策)			
○ ロビー展は、地域の福祉施設等の作品を展示する機会としても利用していただいている。 ○ 奥中山地区文化祭は、作品展示部門、舞台発表部門を実施した。展示部門には、地区の住民を始め教育・保育機関、福祉施設などからも多くの作品を出展していただいた。舞台発表では、地区内の団体等の日頃の活動・練習の成果を発表していただいた。			

第2節 地域における自主的学習の促進と学習団体などの育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 定期教室	期日 通年 内容 ①袋物教室（月1回） ②ちぎり絵教室（月1～2回） ③大正琴（月2回）	① 8回 延べ 53人 ② 10回 延べ 49人 ③ 16回 延べ 32人	B
2. そよかぜ学級	期日 通年 内容 概ね10人以上の参加が見込める教室や講座などを開催する場合、町が講師への謝礼金を支給する。	19回 延べ 177人	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
● 定期教室は、会員の高齢化などにより今後の活動の低下も懸念される。 □ 開催回数を減らすなど検討する。 ○ そよかぜ学級は、地区民が自主的に教室を企画し、開催をととして技術の向上や伝承、参加者相互の交流が図られている。			

第3章 青少年の健全育成

第2節 子ども行事の活性化

青少年教育

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 幼児映画教室	期日 4月～2月 毎月1回 内容 奥中山みどりの森こども園に出張し、園児のための映画会実施している。	延べ 9回 270人	A
2. 青少年地域活動	○小学生の各種体験支援 期日 7月31日（奥中山地区センター） 内容 ニュースポーツ・工作体験	小学生 32人	B
3. ドッジボールニュースポーツ交流会	期日 11月24日 一戸地区センター	小学生 6人 保護者 2人	C
4. 地区子連雪あそび	期日 1月10日 奥中山高原駅前 内容 灯ろうの点灯など夢あかり事業に参加する形で実施。	30人	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 青少年地域活動では、夏休み期間を利用し小学生に様々な体験の機会を提供している。 ○ 地区子連雪遊びは、例年夢あかり事業に参加する形で実施しており、地域のイベントへの参加を通して世代間の交流や郷土愛の醸成を図っている。			

その他

推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
5. 地区センター運営協力者会議	期日 不定期 奥中山地区センター 内容 地域内の各関係団体の代表者に集まっていたき、地区センターの活動などについて協議していただく。	開催なし	—

事業名	実 施 内 容	参加人数	評価
6. 地域団体、地区センター利用団体等代表者会議	期日 不定期 内容 地域の各種団体や地区センター利用団体の代表者会議を開催し、公民館活動の推進等について連絡調整し、事業の円滑化を図る。	開催なし	—
7. 地区センターだよりの発行	期日 年4回 内容 「高原の風だより」を発行し、地区センターの活動や地域に関する情報発信を行った。	3回	B
成果と課題 (○：成果、●：課題、□：対策)			
○ 日頃から各関係団体との連絡を密にし、活動状況の把握や協力体制の構築に努めている。 ○ 地区センターだよりは、奥中山地区センターの事業内容のほか地域の団体や話題などを掲載している。			

スポーツ振興事業実施状況

第4章 スポーツの推進

第1節 スポーツ団体の育成及び指導者の確保

指導者養成

A：計画以上の成果をあげた
B：達成できた
C：おおむね達成できた
D：達成できなかった

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 岩手県スポーツ推進委員協議会総会	期日 5月29日 ・令和6年度事業報告、決算について ・令和7年度事業計画、予算について ・令和7・8年度役員改選について	スポーツ推進委員 1名 事務局 1名	B
2. 岩手県スポーツ推進委員研修会	期日 9月20日（軽米町）	スポーツ推進委員 10名 事務局 2名	B
3. 東北地区スポーツ推進委員研修会	期日 7月11日～12日（福島県田村市）	スポーツ推進委員 3名 事務局 1名	B
4. 全国スポーツ推進委員研究協議会	期日 11月13日～14日（長野県）	スポーツ推進委員 4名 事務局 1名	B
5. 二戸地区生涯スポーツ研修会兼スポーツ交流会	期日 3月14日（二戸市）	スポーツ推進委員 3名	B
6. 岩手県スポーツ推進委員初任者研修会	期日 6月22日（盛岡市）	スポーツ推進委員 0名	D
7. 一戸町スポーツ推進委員研修会	期日 3月24日（一戸地区センター） 『スポーツコンプライアンスについて』	スポーツ推進委員 13名	B
8. 一戸町スポーツ推進委員障がい者交流会	期日 ① 7月19日（一戸地区センター体育館） ② 12月6日（一戸地区センター体育館）	スポーツ推進委員 2名 【中止】	C
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 各種研修会への参加により、指導者としてのスキルアップを図ることができた。 ○ 岩手県スポーツ推進委員研修会が二戸地区で開催され、多くの当町スポーツ推進委員が役員として運営に携わり研修会の成功に寄与した。 ○ 全国スポーツ推進委員研究協議会において、当町のスポーツ推進委員2人が30年勤続表彰を受けた。 ● 障がい者交流会2回目は、主催者（カシオペア障連）の判断により中止となってしまった。 □ 来年度以降は、冬期を避けるよう、主催者と相談しながら進めていきたい。			

奨励活動

事業名	実施内容	参加人数	評価
9. 文化スポーツ賞表彰	期日 3月10日（コミュニティセンター）	受賞者 （スポーツ分） 個人 37名 団体 6団体	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 優秀な成績を収めた個人・団体を表彰することで、競技者のモチベーションの向上が図られるとともに、町民のスポーツに対する興味関心も高めることができた。			

団体育成

事業名	実施内容	参加人数	評価
10. スポーツ団体の育成	年間（体育協会、スポ少、種目別協会）	体育協会 20 団体 スポ少 11 団体	B
成果と課題（○:成果、●:課題、□:対策）			
○ 補助金交付等により、団体数を維持することができた。 □ 団体の活動状況や課題を把握しながら、部活動地域展開を見据えた育成、組織づくりを進めていく。			

第2節 スポーツ・レクリエーション実践活動の促進

体力づくり関係

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 第15回一戸町長杯なぎなた競技会	期日 6月7日（一戸町武道場）	小、中 男女 31名	B
2. 第41回一戸町総合スポーツ大会（ボッチャ競技）	期日 11月30日（一戸地区センター体育館）	24 チーム 101名	B
3. 第41回一戸町総合スポーツ大会（モルック競技）	期日 12月14日（奥中山地区センターホール）	12 チーム 54名	B
4. 第41回一戸町総合スポーツ大会（卓球競技）	期日 2月8日（奥中山小学校） ※2チームのみのエントリーとなったため協議のうえ中止	【中止】	D
5. 第41回一戸町総合スポーツ大会（ビーチボール競技）	期日 2月7日（一戸地区センター体育館）	9 チーム 47名	B
6. わくわく kids 体力測定会	期日 10月28日（一戸地区センター体育館） 10月31日（奥中山小学校）	町内保育園児 60名 28名	B
7. 第68回町民体育大会	期日 8月17日 奥中山 月 日 平 糠 9月21日 鳥 海 月 日 小鳥谷 月 日 姉 帯	300名 【中止】 200名 【中止】 【中止】	C
8. 第50回一戸町民ロードレース大会 第50回一戸町駅伝競走	期日 10月4日（総合運動公園） 第50回目の開催を記念し、県北地域の市町村の協力を得て、「ごしょどん」を含む、ゆるキャラ10体による大会の盛り上げを行った。	小、中、一般男女 ロードレース 310名 駅伝競走 15チーム60名	B
9. 第35回ゲートゴルフ大会第19回 グランドゴルフ交流会	期日 10月13日（総合運動公園）	小中一般男女 35名	B
10. 第15回一戸町秋季なぎなた大会	期日 11月29日（一戸町武道場）	小、中、高 男女 40名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
11. オクトーバーラン&ウォーク 2025	期日 10月1日～31日	町民 ウォーキングの部 27名 ※ランニングは集計なし	B
12. 第4回一戸町ゲートボール大会	期日 3月7日（屋内ゲートボール場）	一般男女 8チーム 44名	B
13. 無料スキー教室	期日 1月11日（奥中山高原スキー場）	小、中、一般男女 アルペン 19名 クロカン 8名	B
14. 町民スポ・レク学級	期日 1年間（町内希望団体）	幼児、小中一般 延べ 126 教室 36 団体 1,922 名 講師派遣数 延べ 131 名	B
15. いちのへニュー スポーツ体験交流会	期日 ① 6月29日（一戸地区センター体育館） ② 10月13日（一戸地区センター体育館） ※スポーツ推進委員協議会との共催事業	参加者 ①39名 ②31名 スポーツ推進委員 延べ 9名	B
16. ゆるっと！ ニュースポーツ体験教室	期日 ① 7月2日（一戸町総合運動公園） ② 7月17日（奥中山地区センター） ③ 7月28日（一戸地区センター） ④ 8月5日（小鳥谷地区センター） ⑤ 8月20日（一戸地区センター） ⑥ 8月25日（旧鳥越小学校） ⑦ 9月3日（旧鳥海小学校） ⑧ 9月8日（一戸地区センター） ⑨ 9月26日（小鳥谷地区センター） ⑩ 10月1日（奥中山小学校） ⑪ 10月6日（一戸地区センター） ※スポーツ推進委員協議会との共催事業	20名 5名 11名 11名 6名 0名 15名 11名 15名 【中止】 14名 参加者計 108名 スポーツ推進委員 延べ 31名	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 昨年度までの課題であった事業の見直しを進めることができた。（No.12～15 総合スポーツ大会） ○ 新規事業として、2つの事業をスポーツ推進委員協議会と共催し、NPOスポーツウェルネスの協力も得ながら、町民に体を動かす機会を提供することができた。同時に、ニュースポーツの普及を図ることができた。 ● 内容や周知方法などの課題も残った。 □ スポレク学級（講師派遣）事業の周知も広く行い、より多くの町民がスポーツに触れ生き生きとした生活を送ることができるよう継続して行っていきたい。			

地区スポーツ振興会等事業

事業名	実施内容	参加人数	評価
17. 〔奥中山〕 ★奥中山地区総合体育大会 ソフトボール ゲートボール モルック 卓球 ★登山（クアオルト） ★グラウンドゴルフ交流会 ★バスケット交流会	◎奥中山高原クラブ 奥中山小体育館他 ・ 7 月 13 日（青年、一般男） ・ 7 月 13 日（60 才以上男女） ・ 7 月 13 日（一般男女） ・ 11 月 9 日（一般男女） ・ 10 月 19 日（小、中、高、一般男女） ・ 10 月 5 日（一般男女） ・ 1 月 10 日（小、中、高、一般男女）	75 名 48 名 70 名 25 名 11 名 17 名 65 名	B
18. 〔小島谷〕 ★ニュースポーツ体験教室 ※町スポーツ推進委員協議会と共同開催 ★ビーチバレーボール大会	◎小島谷地区スポーツ振興会 ・ 8 月 5 日 小島谷地区センター ・ 9 月 26 日 小島谷地区センター（小、中、高、一般男女） ・ 2 月 22 日 小島谷地区センター（一般男女）	20 名 19 名 35 名	B
19. 〔鳥海〕 ★小学生モルック大会 ★ペタンクリーグ戦	◎鳥海地区スポーツ振興会 ・ 7 月 28 日（小学生男女） ・ 7 月～8 月（一般男女）	6 名 延べ 159 名	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 補助金の交付により、本年度も継続し開催することができた。 ○ 地域内外のスポーツ交流、健康づくりが推進されるよう今後も支援を継続する。			

体育施設の開放

事業名	実施内容	参加人数	評価
20. スポーツの場開放	期日 4 月～3 月 一戸小・一戸中・奥中山小・鳥海小・旧鳥越小・旧小島谷小・旧小島谷中・旧宇別小	1,071 回 延べ 16,764 名	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 地域住民や各種団体との連絡調整を行い、活動の場を確保することができた。 ○ 6 年度末で閉校となった旧小島谷小学校の体育館を新たに開放することができた。			

第 3 節 スポーツ交流の促進

各種大会の開催と協力

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 早起き野球リーグ	期日 6 月～8 月（全 3 試合） ※聞き取り中	一般 3 チーム 延べ 80 名	B
2. 第 77 回岩手県民スポーツ大会	期日 ①夏季 6 月～8 月（県内市町村） ②冬季 1 月（県内市町村）	一般男女 ① 7 種目 59 名 ② 2 種目 11 名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
3. 一戸町長杯ペタンク大会	期日 月 日（総合運動公園）	【中止】	—
4. 第53回町民登山	期日 7月12日（八幡平市田代山）	一般男女 20名	B
5. 会長杯ターゲットハートゴルフ大会	期日 11月16日（ターゲットハートゴルフ場）	一般男女 21名	B
6. 北岩手南青森中学校体育大会（柔道）	期日 月 日（一戸地区センター体育館）	【中止】	—
7. 第53回北岩手南青森親善バレーボール大会	期日 11月23日（一戸地区センター体育館）	高校・一般 10チーム 200名	B
8. 第10回一戸町長杯グラウンド・ゴルフ大会	期日 10月2日（総合運動公園）	一般男女 97名	B
9. 2026 FISCHER CUP クロスカントリースキー 奥中山高原大会兼 第66回一戸町小中学校スキー大会	期日 1月31日（奥中山高原スキー場）	小、中、高、一般 85名	B
10. 2026 ROSSIGNOL CUP 奥中山高原スキー大会兼第66回一戸町小中学校スキー大会	期日 1月31日（奥中山高原スキー場）	小、中、高、一般 60名	B
11. 第19回奥中山高原クロスカントリースキー大会	期日 2月15日（摺糠地区特設コース）	小、中、高、一般 個人 106名 リレー 25チーム	B
12. 一戸町希望郷ペタンク大会	期日 月 日（総合運動公園）	【中止】	—
13. 各種スポーツ大会派遣事業	随時	小中高一般男女	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 関係団体への補助を行うことにより、団体の意欲向上が図られ町内で各種大会が開催された。			
○ 各種スポーツ大会派遣事業での大会参加費補助により、参加者、保護者の経済的負担軽減を図ることができた。			

その他

推進体制の充実

事業名	実施内容	参加人数	評価
14. 学校開放管理指導員会議	期日 4月14日（一戸地区センター） ・令和6年度反省及び7年度事業計画について	管理指導員 5人	B
15. 市町村生涯スポーツ担当者会議	期日 4月25日（岩手県水産会館） ・令和7年度スポーツ関連事業について	事務局 2名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
16. 一戸町スポーツ推進委員会議	期日 ① 4月30日（一戸地区センター） ・令和7年度事業計画について ② 3月24日（一戸地区センター） ・令和7年度事業報告について	スポーツ推進委員 13名 スポーツ推進委員 14名	B
17. 二戸地区スポーツ推進委員協議会総会	期日 5月16日（九戸村公民館） ・令和6年度事業報告、決算について ・令和7年度事業計画、予算について	スポーツ推進委員 5名	B
18. 体育協会、スポーツ少年団各種大会監督者会議等諸会議	期日 5月30日（一戸町コミュニティセンター） ・一戸町体育協会令和7年度定期総会 期日 6月27日（総合運動公園） ・一戸町スポーツ少年団令和7年度定期総会	体協会員 30名 スポ少会員 12名	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 関係者間の連絡調整及び情報交換を図ることができた。			

世界遺産事業実施状況

第5章 世界遺産「御所野遺跡」を守り伝えるまちづくりの推進

A：計画以上の成果をあげた
 B：達成できた
 C：おおむね達成できた
 D：達成できなかった

第1節 次代への継承

事業名	事業内容	参加人数等	評価
1. 縄文遺跡群世界遺産本部事業	内容 縄文遺跡群の保存・活用に関し必要な事項を実施するため、4道県14市町で構成。 ①縄文遺跡群世界遺産協議会 ②縄文遺跡群世界遺産専門家委員会 第7回 9/4、第8回 3/6 ③遺産影響評価報告 8/31 報告 ④縄文フォーラム 11/15～16 福岡フォーラム 福岡市 10/12 クロストーク・おらほの縄文遺跡―海の縄文・山の縄文― 釜石市 1/25 東京フォーラム 東京都	①書面開催 ②9/4 職員2名 3/6 職員2名 ④10/12 職員1名 1/25 職員1名	B
2. 景観形成支援事業	内容 バッファゾーン内建造物の屋根等の塗り替えに対する補助	申請なし	—
3. 御所野遺跡保存整備事業	内容 ①縄文里山づくり事業 継続 ②史跡整備 復元竪穴建物修理 (東ムラ中型1棟) ③施設の補修管理 博物館西側2階デッキ修繕、2階カフェ改修、 トイレ洋式化	年間	B
4. 史跡御所野遺跡保存活用計画策定事業	内容 御所野遺跡の保存活用を進めていくための指針となる計画を策定するもの(～R8年度) ①計画策定委員会 第1回 7/15、第2回 2/17 ②文化庁現地指導 8/21～22	①委員5名 ワザバ-2名 ②委員5名 ワザバ-2名	B
5. クリーンデー	期日 ①4/19 ②11/8 内容 ボランティアや町内各団体、住民等による御所野縄文公園の清掃活動	①206名 ②235名	A
6. ミュージアムスタート事業	内容 町内に住む乳児期の子どもとその家族を対象とし、御所野縄文公園来場の機会をつくり、遺跡や博物館を利用する楽しさを伝える ①事業紹介と一部特典の配布 6/18、8/27、10/15、12/24、1/14、2/25 ②ベビーケアルームの設置 7/27～	①14組 28名	A
成果と課題 (○：成果、●：課題、□：対策)			
○ クリーンデー開催にあたっては町内外や企業の方からもたくさん参加していただいた。 ○ 復元建物修理にあたってはイベント時に公開するなど、多くの方々にその様子を紹介することができた。			

第2節 世界遺産としての価値の理解促進

事業名	事業内容	参加人数等	評価
1. 調査研究事業	期日 研究会・調査 ①8/22～25 ②2/22～23 ③3/20～22 内容 山井遺跡出土藍胎漆器の復元製作について、金沢大学や八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館などとの共同研究（～R9年度）	①職員3名 ②職員4名 ③職員1名	B
2. 企画展	期日・場所 10/18～11/24 御所野縄文博物館 研修室 内容 「戦いのはじまりー縄文と弥生の出土品からー」の開催	4,312名	A
3. ミニ企画展	期日・場所・内容 ①7/27～11/30 御所野縄文博物館 エントランスホール 「いちのへ土偶総選挙」の開催 ②11/21～3/8 御所野縄文博物館 郷土資料コーナー 「染めの型紙×いちのへー受け継がれる魅力ー」の開催	①5,447名 投票総数 651票 ② 777名	A
4. 調査成果発表会	期日 2/21 御所野縄文博物館 内容 御所野遺跡や町内の文化財の調査研究についての成果発表	90名	B
5. わくわく文化財セミナー（共）	期日 ①5/24 ②6/28 ③7/19 ④10/18 内容 縄文文化やそのほかの文化財について学ぶセミナー。 いちのへ縄文里山クラブと共催。	①22名 ②18名 ③13名 ④13名	B
6. ガイド養成講座	期日 ①3/8 ②3/22 内容 御所野遺跡をガイドするため必要な知識やノウハウを習得するための講座を開催	①15名 ②11名	B
7. ボランティア活動支援	内容 公園に関わるボランティア団体の活動を支援 ①いちのへ縄文里山クラブ研修会 9/2～3 浦尻貝塚、宮畑遺跡、東北歴史博物館	①14名	B
8. ガイドアプリ活用	期日 年間 内容 タブレット貸出による御所野遺跡ガイドアプリ利用	貸出 34件	B
9. ごしよの縄文プログラム	内容 里山を活用した縄文のものづくり体験や町内の歴史文化を学ぶプログラムを実施 ①まるっと里山プログラム（年8回） ②てづくりプログラム（随時） ③ごしよの de まなびプログラム（年8回）	①延べ90名 ②1,446名 ③延べ136名	A
10. 御所野縄文おたからフェスタ 2025	期間・場所 5/3～5/5 御所野縄文公園 内容 世界遺産登録4周年を記念し、あらためて御所野遺跡の価値の浸透を図るため、一戸町民を中心とした若年層や家族連れの集客を目標とするイベントを開催した。	1,731名	B

事業名	事業内容	参加人数等	評価
11. ごしよの縄文感謝祭 2025	期間・場所 7/27 御所野縄文公園 内容 世界遺産登録4周年を記念し、あらためて御所野遺跡の価値の浸透を図るため、一戸町民を中心に日ごろの感謝を伝え、若年層や家族連れの集客を目標とするイベントを開催した。 ①復元土屋根住居 炉の点火体験 ②みんなで元気にラジオ体操！ ③縄文朝食会 ④北桜高校生と森遊び！弓矢・石斧体験 ⑤キッズお散歩ツアー ⑥心のふるさと写真展 ⑦ごしよのをかだる会	① 62 名 ② 120 名 ③ 120 名 ④ 39 名 ⑤ 17 名 ⑥ 632 名 ⑦ 52 名	A
12. ごしよの縄文ウィーク 2025(共)	期間・場所 10/18～10/26 御所野縄文公園ほか 内容 御所野遺跡や縄文文化の魅力を発信するため、二戸地域振興センター等と連携して実施。 ①10/18 企画展「戦いのはじまりー縄文と弥生の出土品からー」(～10/26) ②10/18 心のふるさと写真展 vol.2 (～10/26) 一戸町消防団写真展/リンクウォーク写真展 ③10/18 つなぐうるし写真展 (～10/26) ④10/18 大平山元遺跡パネル展 ⑤10/18 企画展展示解説 ⑥10/19 縄文モルック体験 ⑦10/19 御所野縄文博物館で記者体験！ ⑧10/22 秋の里山観察会 ⑨10/23 町民セミナー小鳥谷コース 「小鳥谷は山伏神楽の中心地」 ⑩10/24 縄文の星空観察会～秋～ ⑪10/25 ごしよの縄文ヨガ体験 ⑫10/25 GOOD ごしよの JOMORNING! ⑬10/25 ごしよの縄文神楽 ⑭10/25 縄文野点 ⑮10/25 縄文ナイトツアー ⑯10/25 北桜高校吹奏楽部ナイトアンサンブルコンサート ⑰10/26 バルーン搭乗体験 ⑱10/26 縄文土器で煮たり食べたり体験	①1,265 名 ②1,265 名 ③429 名 ④41 名 ⑤13 名 ⑥20 名 ⑦6 名 ⑧15 名 ⑨33 名 ⑩17 名 ⑪40 名 ⑫40 名 ⑬40 名 ⑭60 名 ⑮4 名 ⑯41 名 ⑰64 名 ⑱10 名	A
成果と課題 (○：成果、●：課題、□：対策) ○ イベントは町民や団体等と協力して開催することができ、多くの方々に参加していただいた。 ● 御所野遺跡の新たな調査成果や魅力など、情報発信を続けていく必要がある。 □ 対策として細やかな SNS 発信や博物館年報に活動記録をまとめるなど、役割分担を行いながら各種媒体の特長を活かした情報発信を継続する。 ● ボランティア登録者が不足している。 □ これまでのボランティア研修を継続し御所野遺跡の内容に興味を持っていただくだけでなく、遺跡案内等の活動に参画できるよう取組を一層進めるとともに、ボランティア団体の会報を会員のみの配布から地域全体に展開する。			

第3節 新たな交流・産業の創出

事業名	事業内容	参加人数等	評価
1. 岩手県3つの世界遺産連携	内容 県内3つの世界遺産が連携して共同事業を実施 ①いわて世界遺産まつり in 釜石 10/12～13 ②児童交流会 11/25 オンライン ③ガイド交流会 7/3 釜石市 ④「岩手の世界遺産」教員現地研修 8/5	①職員1名 ②児童23名 ③参加6名 ④参加12名	B
2. 世界遺産連携	内容 他の世界遺産との連携事業を実施 ①平泉世界遺産祭 8/30～31 平泉町 ②いい遺産プロジェクト参加 11/9 (秋のクリーンデー 再掲)	①職員2名 ②(235名)	B
3. 二戸地域振興センター連携	内容 二戸地域振興センター等と協力して、岩手県北地域をはじめ、八戸、鹿角地域との連携事業を実施 ①北いわて縄文カードの作成・配布 ②ボランティア交流会 2/6 御所野縄文博物館	①459枚 (1/31～3/31) ②4名	B
4. 教育旅行誘致	内容 修学旅行誘致のため、旅行会社等へ働きかけを行う (商工観光課) 8/5～6 南千歳市、北広島市、札幌市	職員3名	B
5. SNS情報発信事業	内容 SNSを活用しリアルタイムに情報を発信 X、instagram、facebook、youtube	通年	B
6. 世界遺産PRキャラクター活用事業	内容 ごしょどん、ごしょたんのデザイン使用及び着ぐるみ貸出	デザイン使用 26件 着ぐるみ貸出 14件	B
7. 世界遺産活用支援	内容 民間による世界遺産や御所野縄文公園の活用を支援 ①Link WALK 開催 9/23 ②一戸町とぼくらの未来開拓プロジェクト(いちぷろ) 「御所野縄文夕涼み会」開催 10/12～13 ③縄文の町リレーマラソン開催 11/9	①700名 ②60名 ③300名	A
成果と課題 (○:成果、●:課題、□:対策)			
○ 3つの世界遺産共同で児童交流会の開催し、交流を図ることができた。 ○ 秋のクリーンデーを国内他の世界遺産との共同事業「いい遺産プロジェクト」に位置づけて実施することができた。 ● 他分野及び他業種との連携により、さらに御所野縄文公園をPRしたい。 □ 今年度から新たに連携した Link WALK、「一戸町とぼくらの未来開拓プロジェクト」など主催者と連携を取りながら各種団体の主体的な活動を引き出すとともに、自然と歴史に調和する御所野らしい取組にする。			

文化財関係事業実施状況

第6章 歴史文化の継承と創造

第1節 文化財の調査・保護

A：計画以上の成果をあげた
B：達成できた
C：おおむね達成できた
D：達成できなかった

事業名	実施内容	参加人数等	評価
1. 文化財の調査	内容 町内に所在する文化財の調査	年間	B
2. 町内遺跡発掘調査事業	内容 町内遺跡の開発に伴う発掘調査	試掘調査 4件 工事立会 1件 分布調査 1件	B
3. 指定文化財等の保護	内容 指定文化財の保護 ①町内文化財パトロール	①随時	B
4. 収蔵資料管理システムデータ作成	内容 御所野縄文博物館収蔵資料及び民俗資料について、クラウド型管理システムに基づき、台帳管理を行う	年間	B
5. 神楽公開	期日 6/15 内容 国登録有形文化財「萬代館」において町内に伝わる郷土芸能を披露する 出演 中山神楽、高屋敷神楽、小友神楽、田中新山社神楽	80名	B
6. 権現様パレード	期日 8/30 内容 各芸能団体の所有する権現様を一堂に会し、一戸まつり2日目の神輿渡御に参加	31名	B
7. 第51回二戸地区郷土芸能発表会（共）	期日・場所 2/8 二戸市 出演：小鳥谷セツ踊り保存会		B
8. 第47回一戸町郷土芸能祭	期日・場所 11/23 コミュニティセンター 内容 郷土芸能を継承するため発表の機会を設け、地域住民の理解を深め、伝承者の技術向上を図る	293名	A
9. 一戸町郷土芸能保存協議会への活動支援	期日 ①役員会 5/8、8/5、10/10 ②総会 6/7 内容 郷土芸能団体の交流・親睦を図り、各種事業を実施し、郷土芸能の活性化と後継者育成に努める	①各職員2名 ②23名	B
10. 無形民俗文化財保存事業	内容 各地域に伝わる無形民俗文化財を後世に継承するため、各団体に補助金を交付	交付決定7団体	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 郷土芸能発表会では、郷土芸能保存協議会と協力して準備や運営することができた。また、町内外から多くの参加者があった。			

第2節 重要文化財旧朴館家住宅の保存修理とまちづくり

事業名	実施内容	参加人数等	評価
1. 旧朴館家住宅保存修理委員会	日時 ①12/5 第1回委員会 内容 文化財建造物の専門家等で組織し、旧朴館家住宅保存修理に係る方針等に関して意見を求める。	①委員8名 ワザンバー2名	B
2. 旧朴館家住宅保存修理事業	内容 旧朴館家住宅の保存修理工事（～R12年度） R7：仮設工事、解体工事		B

3. 朴館家住宅保存会への活動支援	日時 ①5/29 総会 ②11/3 保存活用現地視察研修 (陸前高田市) ③12/21 朴館家を語る会 内容 住宅の保存活動を行う団体の活動を支援する	①会員 9 名 職員 2 名 ②会員 17 名 職員 2 名	B
成果と課題 (○：成果、●：課題、□：対策)			
○ 地域住民・ボランティアとの連携を深め、旧朴館家住宅への理解を広げる教育普及活動を実施することができた。 □ 旧朴館家住宅の確実な保存管理のため、敷地の公有化を進める。 ● 旧朴館家住宅保存修理完了後の活用について具体化を進める。 □ 農業委員会など関係機関と定期的に打合せを行うなど、敷地公有化について、連携を密にしながら、的確な対応ができるよう取組を進める。			

第3節 文化財愛護の機運向上

事業名	実施内容	参加人数等	評価
1. 文化財普及活動	内容 さまざまな広報手段を活用し文化財を周知する ①広報いちのへ掲載 ②ホームページ更新	①計 12 回 ②随時	B
2. 地域住民との連携	内容 地域住民やボランティア団体と連携し、文化財の保護活動を行う。 ①国指定史跡奥州街道 ②国指定根反の大珪化木 ③国指定藤島のフジ ④国指定旧朴館家住宅 ⑤県指定有形文化財西方寺毘沙門堂 ⑥町指定姉帯城跡	①越田橋町内会、八幡町町内会、小性堂町内会、高屋敷町内会、関屋町内会、旧中山自治公民館 ②根反地区婦人会 ③藤島のフジを守る会 ④朴館家住宅保存会、駒木町内会 ⑤西法寺町内会 ⑥姉帯地区住民	B
3. 奥州街ウォーク等への協力	期日 ①IGR 銀河鉄道観光主催「歴史街道を歩く 2025」 4/20、5/11、6/15、9/14、10/19 計 5 回 ②いちのへ縄文里山クラブ主催 「奥州街道を歩こう！～ビギナース版～」 4/13、5/17 計 2 回 ③いちのへ縄文里山クラブ主催 「奥州街道の歩き方」2/15、3/15 計 2 回 内容 資料作成や街道沿いの文化財解説などの協力	①延べ 78 名 ②延べ 36 名 ③延べ 25 名	A
4. 南部「御城印」プロジェクトへの連携参加	期日・場所 年間 御所野縄文博物館ミュージアムショップ 内容 南部氏ゆかりの城館である姉帯城の「御城印」販売及び九戸城との割印を行い、史跡整備、認知度向上や地域活性化などへの貢献を目指す	令和 7 年度 累計販売枚数：462 枚	B

事業名	実施内容	参加人数等	評価
5. 図書館フィールドワーク (共)	期日・場所 5/31 コミュニティセンター・一戸城跡 内容 一戸城の歴史などの講話や現地見学	15名	A
6. 民俗資料等収蔵施設（旧小鳥谷中学校）一般公開	期日・場所 11/16 旧小鳥谷中学校 内容 小鳥谷地区文化祭の開催に合わせ、民俗資料等を収蔵している旧小鳥谷中学校の一般公開	11名	B
成果と課題 (○：成果、●：課題、□：対策)			
○地域住民と連携し、清掃活動や刈り払い作業などを文化財保護活動を行うことができた。 ○関係機関との連携した奥州街道ウォークや一戸城のフィールドワークを実施したことにより、一戸町の歴史や文化財に対する興味関心を広げ、魅力発信を行うことができた。			

その他

文化財行政推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
7. 文化財調査専門委員会	期日・場所 ①6/9 ②3/17 内容 町文化財指定に係る諮問および文化財の調査、保護、活用について協議	①委員3名 ②委員3名	B
8. 二戸地区文化財調査委員等連絡協議会（共）	期日・場所 ①6/24 理事会 二戸地区合同庁舎 ②7/24 総会 二戸市埋蔵文化財センター 研修会 史跡九戸城跡石沢館 内容 二戸管内の文化財調査委員の情報交換と専門的な知識・技術の取得・向上を図る	①理事・監事各1名 職員1名 ②副会長1名・理事1名 職員1名	B
9. 二戸地区文化財担当者会議（共）	期日・場所 2/4 二戸市 内容 文化財行政の具体的推進について協議し、事業の効果的推進を図る	①職員2名	B
10. 岩手県史跡整備市町村協議会	期日・場所 ①6/20 総会 平泉町 ②2/2～3 研修会 陸前高田市 内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議	①職員2名 ②職員3名	B
11. 全国史跡整備市町村協議会東北地区協議会	期日・場所 6/26～27 総会・研修会 平泉町 内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議	職員2名	B
12. 全国史跡整備市町村協議会	期日・場所 ①10/15～17 総会・エキスカージョン 小牧市 ②11/14 臨時大会 ホテルニューオータニ 内容 史跡整備の研究と行政的課題について協議	①欠席 ②職員1名	B
成果と課題 (○：成果、●：課題、□：対策)			
○二戸地区文化財調査員等連絡協議会研修会では、委員同士が交流を深め、身近な文化財を学ぶ機会となった。			

文化芸術・コミュニティセンター関係事業実施状況

第4節 文化・芸術活動団体の育成及び指導者の確保

A：計画以上の成果をあげた
B：達成できた
C：おおむね達成できた
D：達成できなかった

自主事業

事業名	実施内容	参加人数	評価
1. 各種展示会	期日 通年 会場 一戸町コミュニティセンター ロビー 1 絵画教室作品展 6/4～6/22 2 中山の園こぶし みんなの作品展 7/13～7/27 3 金子シゲ子書道教室作品展 8/15～8/24 4 うちのイヌ・ネコ写真展 9/15～10/19 5 新年かきぞめ大会作品展示会 1/9～1/18 6 北桜高校美術部・書道部合同展 1/21～2/8 7 一戸町文化協会写真部会作品展 2/25～3/13 8 わわわのどお～も 2025 ふりかえり展 3/11～	—	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 一般公募型の企画展示である「うちのイヌ・ネコ写真展」ではインターネットでの投稿フォームやSNS、メールなどを活用、また写真部会等お世話になっている方々にもお声がけし、多くの作品を集めることができた。内容も分かりやすく、子どもから大人まで楽しんでいただける展示となった。			

文化・芸術施設の利用促進及び鑑賞・発表機会の拡充

事業名	実施内容	参加人数	評価
2. 利用促進事業	①野鳥観察の楽しみ お話し会 期日 令和7年5月6日（火） 会場 一戸町コミュニティセンター 視聴覚室 内容 講師から野鳥観察の仕方や楽しみ方。また、野鳥観察というアクティビティを紹介してもらい、地域の新たな魅力発見のきっかけにする。 ②初心者向け歴史講座「地域巡りしたくなる歴史への扉」 期日 令和7年6月～令和8年3月（各月1回） 会場 一戸町コミュニティセンター ホール 内容 地元の歴史に興味のある方を対象に、高田代表を講師として月毎にテーマを決めて開催。 ③フラワーアレンジメント教室 期日 令和7年6月14日（土）、12月27日（土） 会場 一戸町コミュニティセンター 会議室 内容 講師に田村望さん（町内在住）を迎え、フラワーアレンジメント教室を開催。（定員10名）	① 参加者 17名 ② 参加者 延べ367名 ③ 参加者 6/14 14名 12/27 13名	B

事業名	実施内容	参加人数	評価
	④わわわのステージ 期日 令和7年6月29日、9月21日、12月21日 会場 一戸町コミュニティセンター ホール 内容 町民参加型のステージ発表会。民謡、舞踊健康体操、童謡唱歌、カラオケ等 ⑤【共催事業】地域おこし協力隊との共催 「土屋朱帆・K O S E I コンサート」 期日 令和7年7月13日（日） 会場 一戸町コミュニティセンター ホール 内容 地域おこし協力隊と共同開催事業として音楽（童謡・ピアノ）コンサートを開催。 ⑥初めての俳句教室 期日 令和7年7月19日（土） 会場 一戸町コミュニティセンター 会議室 内容 一戸町文化協会俳句部部長の田村氏を講師に、俳句を基礎から学び、親しむ会を開催。 ⑦夏休み企画「おばけトンネルクイズラリー」 期日 令和7年7月29日（火）～8月3日（日） 会場 一戸町コミュニティセンター ロビー 内容 夏休み期間に子供やファミリー向けイベントとして開催。（有料） ⑧【後援事業】終戦80周年記念事業 「平和の鐘を鳴らそう」 期日 令和7年8月9日（土） 会場 一戸町コミュニティセンター ホール 内容 一戸町ユネスコ協会主催の記念事業に後援（天野 薫：ピアノ演奏、柴田和子：講演） ⑨公共ホール音楽活性化支援事業 「ハーブが語る物語 福島青衣子ハーブコンサート」 期日 アウトリーチ 令和7年10月2日、10月3日 町内小中学校 コンサート 10月4日（土） 会場 町内小学校、一戸町コミュニティセンターホール 内容 町内小中学校でハーブ演奏のアウトリーチを実施後、最終日にホールでコンサートを開催。 ⑩こつなぎ里山観察会 「自然と歴史を訪ねる」 期日 令和7年11月1日（土） 会場 一戸町コミュニティセンター 会議室 内容 当日雨天により講話会に変更 ※予定 奥州街道の歴史的な場所を訪ねながら、秋の自然を楽しむ会を開催。	④ 延べ 254名 ⑤ 来館者 118名 ⑥ 参加者 7名 ⑦ 参加者 52名 ⑧ 来館者 73名 ⑨ 参加者 アウトリーチ 158名 コンサート 85名 ⑩ 参加者 23名	

事業名	実施内容	参加人数	評価
	⑪縄文の里音楽会 期日 令和7年11月3日(月) 会場 一戸町コミュニティセンター ホール 内容 一戸小学校金管バンド(映像出演)、一戸中学校吹奏楽部、北桜高校吹奏楽部、二戸吹奏楽団等が出演。	⑪ 参加者 180名	
	⑫絵画教室 期日 毎月第2・第4日曜日 会場 一戸町コミュニティセンター 視聴覚室 内容 一戸町文化協会美術部部員を中心とし、絵画に親しむ会を開催。	⑫ 参加者 延べ236名	
	⑬カラオケ倶楽部 期日 毎月第2・第4水曜日 会場 一戸町コミュニティセンター 視聴覚室 内容 カラオケに親しむ会を自由参加で開催。	⑬ 参加者 延べ302名	
	⑭童謡・唱歌を楽しむ会 期日 毎月第3水曜日 会場 一戸町コミュニティセンター 視聴覚室 内容 童謡・唱歌を通じて音楽に親しむ会を開催。	⑭ 参加者 延べ181名	
	⑮ロビー企画事業 期日 令和7年12月～令和7年4月 会場 一戸町コミュニティセンター ロビー ○クリスマス企画「サンタを探そうクイズ大会」 「窓ガラスへお絵描き」 期日 12月7日～25日 会場 一戸町コミュニティセンター ロビー 内容 ロビー壁面にクリスマス仕様に飾られた中からサンタを探すクイズコーナー及び窓ガラスへ自由にお絵描きできるコーナーを設置 ○バレンタインデー企画 「キラキラコラージュ～みんなで大きなハートをつくろう」 期日 1月21日～2月14日 会場 一戸町コミュニティセンター ロビー 内容 来館者一人ひとりの作品で、大きなハートをつくり上げる。 ○「みんなで花束をつくろう」 期日 2月17日～4月15日 会場 一戸町コミュニティセンター ロビー 内容 卒業・入学シーズンに合わせ、来館者にお花を作って壁面を飾ってもらう。	⑮ 来館者 対象	
	⑯広報活動 各種媒体によるイベント情報の発信 ・ホームページ更新(随時) ・インスタグラム更新(随時) ・広報、二戸管内情報誌、記者懇談会へ情報提供 ・新聞社への情報提供 ・ラジオ出演「NHK仙台放送局出演」 ・ロビーディスプレイ更新(随時)	⑯ —	

事業名	実施内容	参加人数	評価
	⑰会議室無料開放（休憩用・自習用） 部屋に予約が入っていない場合は、住民向けに会議室の無料開放を実施。自習用・休憩用に分けて開放し、利用者の利便性を図った。 ⑱地域情報掲示板設置 地域へ情報発信したい団体向けに掲示板を設置。各イベント情報を簡潔なテンプレートでまとめ、チラシと紐づけながら掲示。 ⑲各種事業との連携・協力 一戸町コミュニティセンターを会場としたイベントへの協力。各文化団体と連携を図りながら、主に音響・照明、会場設営、出演者対応等を行った。 ・一戸中学校吹奏楽部「定期演奏会」 ・北桜高校吹奏楽部「定期演奏会」 ・一戸町文化協会「県北一戸美術展」 ・一戸町文化協会「チャリティショー」 ・ユネスコ協会「宝展」 ・一戸町地域婦人団体協議会「演芸大会」 ほか	⑰ 来館者対象 ⑱ 来館者対象 ⑲ 関係者	
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
○ 初の試みとして、2025年度に一戸町コミュニティセンター主催で開催された企画をポスターと写真で振り返る展示を行った。コミュニティセンターの事業アピールになったと共に、特に今までイベントに関わっていただいた関係者よりご好評いただいた。 ○ 自主事業の他にも、柴田産業や里親支援センターぜんゆうによるパネル展示、二戸消防本部消防課や学校保健会によるポスター展示、木戸志保子さんによる絵手紙展、社会福祉協議会によるLink Walk 写真展など、外部からの個人・団体によるロビー利用も増えてきている。 ○ 地域おこし協力隊と共催でコンサートを初開催した。施設だけでは不足する人手や資金を補完し、また隊員のもつネットワークやノウハウも活かされ、より充実した内容の事業となった。事業の新たな取り組み方法の一つを見出すことができた。 ○ 地域住民の「学び」や「新しい趣味」の足掛かりとなる講座を増やし実施した。異なったジャンルの講座を定期的を実施することで、町外からも新たな来館者が増え参加者同士の交流が促進された。また、歴史講座をきっかけに地域に関心を持ち、歴史への学びを深めようと自ら現地を訪問するなど、意欲的に行動する方々が見受けられた。 ○ 地域住民の発表の場「わわわのステージ」への新規参加者（二戸市、盛岡市、八戸市、久慈市等）が増えている。より地域に開かれたイベントとして定着が図られている。 ● 現状、外部からの個人・団体によるロビー展示が初回のみに留まり、2回目から続かないというケースがよく見られる。 □ 令和8年度からは2回目からも使いやすいようロビー展示会の仕組みを見直し、積極的に呼び込んでいくことで個人・団体の発表機会を促進する育成支援、コミセンで毎日何かやっているというイメージアップ、ならびにコミュニティの活性化への一助としていく。 ● 縄文の里音楽会において、イベント日程やスケジュールの調整が上手くいっていない。また、出演団体より、譜面台等の備品を備えてほしいという意見や、団体毎の負担も勘案し調整してほしいという意見も挙げられた。 ● コンサート開催日を他のイベントと重ならないようにしてほしいとの意見が多々あった。 □ 来館者、利用者の要望に可能な限り対応する。			

その他

推進体制

事業名	実施内容	参加人数	評価
3. 社会保険制度に関する説明会	期日 令和7年6月18日（水） 会場 二戸市民文化会館 内容 社会保険制度に関する説明会	1名	B
4. 令和7年度岩手県「アートマネジメント研修」【第2回】	期日 令和7年12月4日（木） 会場 トーサイクラシックホール岩手 内容 CASE STUDY 芸術と観光ー大分・別府、福島・浜通りー	1名	B
5. ステージ視察及び打合せ	期日 令和7年9月13日（土） 会場 久慈市アンバーホール 内容 公共ホール音楽活性化支援事業出演アーティストのステージ視察及び今後の音活事業について打合せ	1名	B
6. 意見交換会	期日 令和8年2月12日（木） 会場 二戸地区合同庁舎 1階大会議室 内容 文化芸術に係る地域課題の掘り起こしと解決策について	2名	B
7. 甲種防火管理新規講習会	期日 令和8年3月5日（木）・6日（金） 会場 いわて県民情報交流センター・アイーナ 内容 施設の防火管理のため受講	1名	B
成果と課題（○：成果、●：課題、□：対策）			
□ オンライン研修も積極的に活用しながら運営体制に支障がでないよう取り組んでいきたい。			

令和7年度教育に関する事務の管理、執行の状況の点検及び評価報告書に関する意見

一戸町PTA連合会 会長 久保田 太一

令和7年度における教育に関する事務の管理、及び執行について御関係者の皆さまの尽力に対し、心より感謝申し上げます。

今回はそれぞれの分野における点検及び評価について、貴重な経験、機会を頂戴し、ありがとうございます。僭越ながら以下のとおり意見を申し上げます。

各分野において、多岐に渡る事業を推進する中でA評価及びB評価がほとんどであり、概ね事業は計画通りに取り組まれており、当初の計画は達成できたものと考えます。

生涯学習関連事業はA～D評価までありますが、課題を見ると参加者の減少による事業の見合わせもあり、事業内容の検討、見直しの必要性がある事業が見られました。

学校教育関連事業は、海外派遣事業について物価高騰、国際情勢の影響を考慮して見直しを行いながら中高生の貴重な経験の機会をしっかりと確保いただき、感謝申し上げます。

また、同様に家庭学習習慣の確保や特別支援学級生徒の学びの保障など、挙げられている課題に対して子ども、家庭、学校、地域、行政が連携し取り組みたいと考えます。

地区センター事業は、ほとんどがA評価、B評価となっており、地域の実情に応じたきめ細やかな事業推進について、重ねて感謝申し上げます。

世界遺産、文化財関係事業、文化芸術・コミュニティセンター関係事業、一戸町立図書館事業についても多くがA評価、B評価としており、文化と教育を大きな柱にした事業が活発に展開されており、今後の事業推進も楽しみにしております。

今後ともPTA活動に対し、一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一戸町児童福祉施設保育会 会長 田山 久美子

事業に携わった関係者の皆様には、各事業の実施に際してご尽力され、心より感謝申し上げます。個々の事業の点検・評価結果については、全体としていずれの事業も着実に成果をあげており、当初の計画が達成できたものと考えます。

自身の職域の観点から「第2章 学校教育の充実」への意見が中心になりますが、子ども達が安心して学び、健やかに成長できる環境づくりが着実に進展していることは何よりの成果であり、加えて、社会教育や文化財保護といった分野においても、地域の歴史や文化を次世代へ継承し、豊かな人間性を育むための取組が着実に進められていると感じます。これらは、学校教育と相互に補完し合いながら、地域全体で教育を支える基盤として重要な役割を果たしているのではないのでしょうか。

学校教育では、ICT学習の環境が着々と進んでいることを評価します。今後とも創意工夫し、実態を改善すべく一層の取組をお願いします。

教育環境の整備充実については、どこの施設も経年劣化していると思いますが、施設設備の充実に関しては子ども達の安全のために速やかな改善を今後も図ってください。

特別な支援を要する児童への対応をはじめ、いじめ防止や悩み相談に注力し、専門員を学校に配置す

ることは安心安全な学校生活が送れるよう適切な対応がなされているものと評価します。しかし、これらの対応は明確なゴールが見えているわけではなく、支援には時間を要するので対応する職員の確保等、今後も子ども達のために、より効果的な対応を目指して取り組んでいただきたいと思います。

幼児教育の充実に関しては、「こ保小連携研究会」が実施され、就学前教育と小学校教育との情報の共有、保育者と教師間での学び合いができていることを評価します。

すべての子ども達一人一人がかけがえのない特別な存在です。子どもの実態や学び方はそれぞれ異なるということを踏まえ、子ども達が安心して学べる環境を整えること、一人一人の多様な学び方を理解し、対応に努めていくことが「こどもまんなか社会」それぞれの「ウェルビーイング」につながると考えます。

SNS活用の機会が増え、これまで以上に町民の声やニーズを多様な形で発信、把握できるようになっていますが、教育行政においても、こうした社会の動きを踏まえ、町民と連携を図りながら、諸課題に対して迅速かつ柔軟に対応する姿勢が求められていると思います。また、意思決定の透明性や説明責任の強化、双方向のコミュニケーションの促進、さらには多様性への理解と包摂の視点を持つことが、より開かれた教育サービスの提供につながるものと考えます。地方自治体の教育行政は、子ども達の学びと成長を支えると同時に、地域社会の活力と未来を創造するために今後も、地域の特性を活かした柔軟かつ実効性のある教育施策の展開を図ることを強く期待します。